目次

chapter 01　はじめに

chapter 02　製品概要

chapter 03　ナビゲーション機能：地点検索

目次

chapter 04　ナビゲーション機能：ルート探索・案内

chapter 05　ナビゲーション機能：登録管理

chapter 06　ナビゲーション機能：ナビゲーションの設定

目次

chapter 07　ワンセグテレビ機能

chapter 08　メディアプレーヤー機能

chapter 09　本体の設定

chapter 10　データベースについて／故障かな？

chapter 01　はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたいこと

ご使用の前に行っていただくこと

●本体および付属品が全て入っているかをご確認ください。

●本書および同梱の『 製品ガイド 』をよくお読みください。また、読んだあとはいつでも取り出せる場所へ大切に保管してください。

●本体へ電源を接続し、内蔵バッテリーを充電してください。

製品について

●本製品はポータブルナビゲーションとして開発されています。カーナビとして使用するときは、運転中には操作を行わず、安全な場所に停車して操作してください。

●緊急を要する施設（ 病院、警察、消防など ）の検索や案内は、本製品を頼らず該当施設へ直接ご連絡ください。

●本製品の仕様や本書は、製造・梱包時の情報や法規に則って制作されています。

●本製品の仕様や画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
●本書の内容は予告なく変更する場合があります。また、イラストはイメージです。画面の色などは実際と異なる場合がありますのでご了承ください。

免責事項

●お客さま、または第三者が本製品の使用を誤ったとき、静電気や電気的なノイズの影響を受けたとき、故障による修理のときなどに、登録されていた内容が変化・消失した場合、当社は補償を行いません。

●事故時や業務用で使用されている場合の損害についての補償は行いません。

●本製品の使用、または使用不能による付随的な損害（ 事業利益の逸失、記録内容の変化や消失など ）に関して、当社では一切の責任を負いかねます。

●お客さまが本体やmicroSDカードへ登録された個人情報（ 登録地点など ）は、お客さまの責任において管理を行ってください。特に本製品を第三者へ譲渡したり、廃棄する場合は、お客さまの責任において消去等の処置を行ってください。当社では登録された情報による損害について、一切の責任を負いかねます。

●本製品は日本国内向けに製造されたものです。海外ではご使用になれません。
This product is not designed for oversea use.For use in Japan only.

●船舶や航空機の主航法装置としての使用や、登山用地図としての使用など、本来の使用方法から逸脱した使用により生じた損害についても、当社は一切の責任を負いません。

製品の特長

この製品は、主にGPSを利用したナビゲーション機器です。

本体機能

● 4.3 インチ液晶とスピーカーにより画面表示や音声でナビゲーションを行います。

●内蔵のGPSアンテナ、加速度センサー、電子コンパスにより測位を行います。

●ハードウエアキー、タッチパネル、加速度センサーを利用したフリック機能により操作できます。

●内蔵バッテリーを搭載し、電源を接続しないで使えます。

●内蔵 2GB メモリーにナビゲーションソフトウェアを収録しています。

●インターネットを介してデータの更新が可能です。

ナビゲーション機能

●地図や表示の見やすさ、操作の分かりやすさに主眼を置いた設計です。

●大容量データをあらかじめ本体内蔵メモリーへ収録しており、たくさんのデータからすばやく目的の検索を探し出すことができます。

●車やバイク、徒歩・自転車などの移動手段をはじめ、各種の条件を設定したきめ細やかなルート探索ができます。

●親切な表示や音声案内で、目的地までナビゲーションを行います。

●画面表示を変更するなど、好みにあったナビゲーションを行うことができます。

メディアプレーヤー

● microSD カードに記録した音声・音楽や静止画、動画の再生が可能です。

●ナビゲーションしながら音声・音楽を再生することができます。

ワンセグテレビ

●ほかの機器との接続なしで、本体のみでワンセグ放送を受信することができます。

● microSD カードへ番組を録画することができます。

●電子番組表（EPG）に対応し本体で番組表の確認が可能です。

※microSD カードは同梱しておりません。

詳細は同梱の『 製品ガイド 』をお読みください。

本書の表示

本製品および取扱説明書の表示について

本製品および取扱説明書（本書）では、本製品を正しくお使いいただき、事故や損害を未然に防ぐために様々な表示を行っています。その表示と意味は次の通りです。

注意すべき事柄の表示

注意事項は、その内容を守らなかった場合に想定される危害や損害の程度により、区分して表示します。

	危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される事柄
	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるため、必ず守っていただきたい事柄
	注意	人が軽傷を負ったり、物的損害を避けるため、必ず守っていただきたい事柄

注意すべき内容の表示

注意すべき内容の性質は、次の表示で表しています。

	禁止	絶対にしてはいけない事柄
	強制	必ず行っていただく事柄

操作方法の表示

本書内では、操作方法や画面表示について次の表示を行っています。

	タッチパネル	画面に触れて操作します。

安全上のご注意

⚠ 危険

内蔵バッテリーを他の用途や方法で使用しない。
内蔵バッテリーを傷つけたり、傷つけるおそれのある方法で使用しない。

本体を分解して内蔵バッテリーを取り出したり、本体を傷つけることにより内蔵バッテリーが破損すると、発熱や発火、漏液、破裂の原因となり大変危険です。次のことを必ずお守りください。

●指定以外の方法や機器を使って充電しないでください。

●本体から内蔵バッテリーを取り外して他の機器で使用しないでください。

●本体や内蔵バッテリーの分解や改造を行ったり、釘や刃物などで傷つけたりしないでください。

●本体を踏みつけたり落下させるなど、強い衝撃を与えないでください。

●本体を火中へ投入したり、加熱しないでください。火のそばや高温になる場所へ放置しないでください。

●本体内部へ水を入れないでください。

●万一、内蔵バッテリーが露出してしまったときは、内蔵バッテリーの⊕と⊖を金属などで接触させたり、アクセサリーなどの金属製品と一緒に持ち運ばないでください。

●内蔵バッテリーが破損したり液漏れを起こしているおそれがある場合は、ただちに電源を切って使用を中止し、販売店または当社までご連絡ください。

内蔵バッテリーが液漏れを起こしているときは、内部の液体に触らない。

内部の液体が皮膚に付着すると負傷するおそれがあります。また、目に入った場合は失明するおそれがあります。

●内部の液体が皮膚や衣類に付着したときは、ただちにきれいな水で洗い流してください。

●目に入ったときは、目をこすらずにきれいな水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください。

内蔵バッテリーが液漏れを起こしているときは、ただちに火気から遠ざける。

漏れた液体に引火し、発火や破裂の原因となるおそれがあります。液体に直接触れないようにして火気から遠ざけてください。

安全上のご注意

⚠ 警告

本製品を船舶や航空機の航法装置として使用したり、登山用地図として使用しない。
本製品のナビゲーション機能は道路のナビゲーションを目的に作られています。船舶や航空機の航行用に使用すると、測位の誤差などにより航行に支障が生じるおそれがあります。また、登山用などに使用すると、電池切れにより地図が見られなくなることがあります。

運転したり、歩きながら本製品の操作や注視をしない。
事故の原因となります。特に運転者が操作を行うと、前方不注意で事故の原因となります。また、道路交通法違反になりますのでご注意ください。

車での使用時は、安全な場所に停車して本製品の操作を行ったり画面を見る。
駐停車禁止場所など危険な場所に停車すると、事故の原因となります。

交通規制に従って走行する。
ナビゲーションと実際の交通状況が合っていないことがあります。このような場合に無理にナビゲーションに従って走行すると事故の原因となります。

濡れた手で取付や操作をしない。
特に電源部分を濡れた手で触ったり操作をしないでください。故障の原因となります。

分解したり改造しない。
故障や火災の原因となりますので、分解や改造などは行わないでください。

故障した状態で使用しない。
そのまま使用し続けると火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。

水流に当てたり、水中へ入れない。
本体内部へ浸水し故障の原因となります。水道で洗ったり水中へ沈めないでください。

本体内部へ異物を入れない。
故障や火災の原因となるほか、感電の危険があります。各端子やmicroSDカードスロットへ異物を混入させないでください。

本体を火中に投入しない。
破裂や故障、火災の原因となりますので絶対におやめください。

安全上のご注意

⚠ 警告

雷が発生しているときは本体やケーブルに触れない。
被雷の危険がありますので触れないでください。

タコ足配線をしない。
火災や過熱の原因となりますのでおやめください。

万一、発火、発煙、異臭、高温などの異常な状態になった場合は、ただちに使用を中止する。
継続して使用すると事故や負傷の原因となります。車で使用している場合は安全な場所へ停車して使用を中止してください。

必ず付属品や指定の部品を指定どおりに使用する。
指定以外の部品の使用は、破損、火災の原因となることがあります。また、安全性能が低下し事故や故障の原因となります。

ACアダプターやDCケーブルのケーブル部分を傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしない。
ケーブル内部で断線が起こり、故障や火災、感電の原因となります。無理な力を加えないでください。

安全上のご注意

⚠ 警告

車へ取り付けるときは、次の場所へ取り付けない。
●前方の視界を妨げる場所
●ハンドルやレバーなどの運転装置の操作の妨げになる場所
●同乗者に危険を及ぼす場所
●エアバッグなど車の安全装置の動作を妨げる場所
事故や負傷の原因となりますのでご注意ください。

振動の多い場所や不安定な場所に取り付けない。
傾斜のきつい場所や強い曲面などに取り付けると、走行中に外れたり、落下するなど、事故やけがの原因になることがありますのでご注意ください。

外れたり、落下しないようにしっかり取り付ける。
設置場所の汚れなどを拭き取り、確実に設置してください。再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり、走行中にはずれて落下し、事故やけがの原因になります。お使いの前には、設置の状態（ゆるみやガタなどがないかなど）を定期的に点検してください。

取付は安全な場所に駐車して行う。
走行中の取付は大変危険ですので絶対に行わないでください。

走行する前に本体や取付スタンドがしっかりと固定してあることを確認する。
不完全な取付は落下や事故の原因となります。

車のシガーライターソケットに異物がないことを確認してから、電源プラグを差し込む。
異物があるとショートが起こり、故障、火災の原因となります。

⊕アースの車と接続しない。
本製品はDC12V～24Vの⊖アース車用です。これ以外の接続は故障、火災の原因となります。

指定以外のヒューズを使用しない。
指定以外のヒューズを使用すると、故障や火災の原因となります。

航空機や病院など、機器を高精度で制御している場所や微弱な電気信号を取り扱う機器のそばでは電源を切る。
周辺の機器や計器が誤作動を起こすなど、悪影響を与えるおそれがあります。

安全上のご注意

⚠ 注 意

車のエンジンが停止した状態で本体を長時間使用しない。
DCケーブルを接続して電源供給を行っている状態で使用し続けると、車のバッテリーがあがる恐れがあります。

適度な音量で使用する。
外部の音が聞こえず事故の原因となったり、聴力に悪影響を与えるおそれがあります。

長期間使用しない場合は安全のため電源プラグを抜く。
感電や火災の原因となることがあります。

直射日光が当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所で長時間使用したり、放置しない。
やけどや火災、故障の原因となることがあります。

油煙やほこりのかかる場所で使用しない。
火災や故障、感電の原因になることがあります。

傾いた場所など不安定な場所に置かない。
本体が落下してけがをしたり、破損の原因となることがあります。

本体をクッションやふとんなどで覆って使用しない。
過熱、火災の原因となることがあります。

とがったものや強い力で液晶ディスプレイを押したり、強い衝撃を与えない。
ガラスが破損し、けがの原因となることがあります。

取付スタンドに必要以上の力を入れない。
破損したりけがの恐れがあります。

車への取付時は、指定の手順を必ず守る。
正しく取り付けないときちんと固定されず、破損やけがのおそれがあります。特に、本体の起動と外部電源への接続の順番を必ずお守りください。

ACアダプターやDCケーブルの抜き差しを行うときは電源ケーブルを引っ張らない。
電源ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

濡れた手でACアダプターやDCケーブルを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

chapter 02　製品概要

本体と付属品一覧

お買い上げ後はすぐに本体や付属品を確認してください。
足りないものがあったり、破損している場合には、お買い上げの販売店へご連絡ください。

各部の名称とはたらき：本体

❶液晶ディスプレイ
タッチパネルになっており、画面に直接タッチして操作をします。

❷フロントパネル
着せ替えパネル（別売）へ交換可能です。

❸フロントパネル取付ネジ

❹充電ランプ
電源が外部から供給されているときは赤色LEDが点灯します。

❺電源ランプ
本体が起動しているときは緑色LEDが点灯または点滅します。

❻外部GPSアンテナ接続端子
外部GPSアンテナ（別売）を接続します。

❼防水スピーカー
モノラル出力の内蔵スピーカーです。

❽クレードル取付スリット
取付スタンドへ本体を取り付けるときに、クレードルをはめ込みます。

❾外部ワンセグアンテナ接続端子
外部ワンセグアンテナ（別売）を接続します。

❿電源スイッチ
主電源のオン／オフをコントロールします。

⓫スタンバイボタン
長押しをすることによりスタンバイモードに切り替え、動作や表示を一時的に停止します。

⓬リセットボタン
起動中に押すと、本体の再起動を行います。

⓭ microSDカードスロット
microSDカードを挿入します。

⓮オプション接続端子
専用オプションの接続時に使用します。

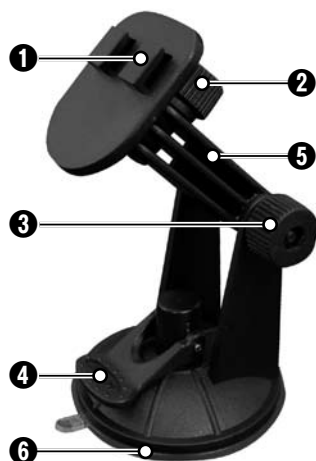
⓯電源接続端子
ACアダプターやDCケーブルを接続し、本体へ電源を供給します。

⓰外部出力端子
3.5ミリヘッドホン端子へ音声を出力します。専用AV出力ケーブル（別売）使えばモニターなどの外部機器へ映像や音声を出力することもできます。

⓱ワンセグアンテナ
ワンセグテレビを見るときに引き出して使用します。

⓲メインメニューボタン
本体起動中に押すと、メインメニュー画面へ戻ります。

各部の名称とはたらき：付属品

標準取付スタンド

❶クレードル取付部
クレードルを取り付けて本体を固定します。

❷角度調節ノブA
クレードル取付部の左右の角度を調節・固定します。

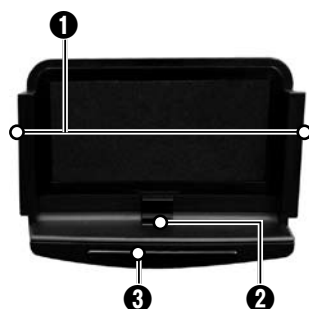
❸角度調節ノブB
クレードル取付部の上下の角度を調節・固定します。

❹脱気レバー
吸盤内に入り込んだ空気を吸い出し、吸着力を高めます。

❺アーム

❻固定吸盤
ダッシュボードへ貼付した吸着ベース板上へ吸着させ、取付スタンドを固定します。

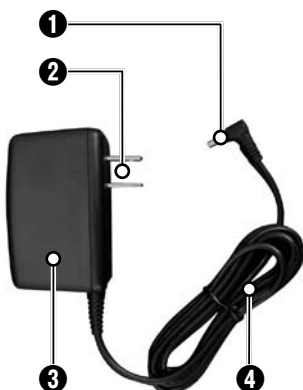
クレードル

❹背面

❶本体取付レール
本体のクレードル取付スリットにはめ込んで、本体をクレードルに固定します。

❷脱落防止ロック
本体をクレードルへ固定します。

❸ロック解除ボタン
本体をクレードルから取り外すときに脱落防止ロックを解除します。

❹取付スタンド取付穴
取付スタンドのクレードル取付部にはめ込んで、クレードルを取付スタンドへ固定します。

各部の名称とはたらき：付属品

ACアダプター

❶電源プラグ（本体側）
本体の電源接続端子へ差し込んで電源を供給します。

❷電源プラグ（コンセント側）
家庭用100V電源へ差し込みます。

❸ACアダプター本体

❹電源ケーブル

DCケーブル

❶電源プラグ（本体側）
本体の電源接続端子へ差し込んで電源を供給します。

❷シガープラグ（シガーソケット側）
車のシガーライターソケットへ差し込み、電源を供給します。先端部を開けるとヒューズ（2A250V）を交換できます。

❸接続ランプ
シガーライターソケットからシガープラグへ電源が供給されていると点灯します。

❹電源ケーブル

本体の仕様：防水機能／ディスプレイ／本体外装

防水機能について

⚠ 警告

本体を流水に当てたり、水中へ入れない。
本体内部へ浸水し、故障の原因となります。

本体へ水がかかる状況では端子類のカバーを完全に閉じ、アンテナを収納する。
装着や収納が不完全だと隙間から本体内部へ浸水し故障の原因となります。

端子類のカバーやアンテナを無理に引っ張ったり損傷しない。
カバーやアンテナが破損すると、防水機能が低下したり機能しなくなります。

●本体は国際規格『IPx4』を満たした防水構造です。
●本体は飛まつから内部を保護しますが、水圧がかかるような状況での水の浸入には対応しておりません。水道などの流水や強い雨に当てたり、水中に沈めたりしないでください。
●本体は、端子類のカバーを全て閉じ、ワンセグアンテナを完全に収納した状態で『IPx4』基準を満たすよう作られています。カバー内部の端子部は防水ではありませんのでご注意ください。また、ワンセグアンテナは伸張した状態では基準を満たしません。水がかかる状況ではカバー類を完全に閉じ、ワンセグアンテナを収納した状態でご使用ください。なお、スピーカーは防水構造です。
●カバーを無理に引っ張ると、損傷により防水性能を十分保てなくなるおそれがあります。また、高温にさらした場合の変形や、経年変化による材質の変化などにより、防水性能が低下するおそれがあります。
●付属品には防水機能はありませんのでご注意ください。

液晶ディスプレイについて

●液晶ディスプレイの同じ場所に赤や青、緑、白、黒の点があらわれることがあります。これは「ドット落ち」と呼ばれる現象で、液晶ディスプレイの製造工程で発生するものです。現在の製造技術では回避するのは困難な現象であるため、保証対象外とさせていただいております。
●直射日光が当たると液晶ディスプレイに光が反射して見えづらくなります。この場合は直射日光を遮るか、画面の明るさを上げると改善することがあります。

本体の外装とお手入れについて

●本体背面側のラバー質塗装は、長期間油脂などの物質に接触していると劣化することがあります。汚れはこまめにふき取ってください。
●本体を清掃するときは電源を切り、乾燥したやわらかい布でふき取ってください。乾拭きで落ちない汚れは、薄めた中性洗剤をしみ込ませ、かたく絞ったやわらかい布でふき取ってください。流水で洗ったり、有機溶剤や酸・アルカリ性の強い洗剤などは使用しないでください。
●本体には、アルミ箔などの金属類を貼付したり、塗装しないでください。内蔵GPSアンテナや加速度センサー、電子コンパスの性能が低下するおそれがあります。

本体の仕様：内蔵バッテリー

本体に搭載されている内蔵バッテリーはリチウムポリマー電池です。

リチウムポリマー電池は誤った取り扱いをすると発熱や発火、漏液、破裂のおそれがあります。以下の注意事項をよくお読みになり、十分ご注意ください。

⚠ 危険

内蔵バッテリーを他の用途や方法で使用しない。
内蔵バッテリーを傷つけるおそれのある方法で使用しない。
本体を分解して内蔵バッテリーを取り出したり、本体を傷つけることにより内蔵バッテリーが破損すると、発熱や発火、漏液、破裂の原因となるおそれがあり大変危険です。次のことを必ずお守りください。

●指定以外の方法や機器を使って充電しないでください。

●本体から内蔵バッテリーを取り外して他の機器で使用しないでください。

●本体や内蔵バッテリーの分解や改造を行ったり、釘や刃物などで傷つけたりしないでください。

●本体を踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。

●本体を火中へ投入したり、加熱しないでください。火のそばや高温になる場所へ放置しないでください。

●本体内部へ水を入れないでください。

●万一、内蔵バッテリーが露出してしまったときは、内蔵バッテリーの⊕と⊖を金属などで接触させたり、アクセサリーなどの金属製品と一緒に持ち運ばないでください。

●内蔵バッテリーが破損したり液漏れを起こしているおそれがある場合は、ただちに電源を切って使用を中止し、お買い上げの販売店までご連絡ください。

内蔵バッテリーが液漏れを起こしているときは、内部の液体に触らない。
内部の液体が皮膚に付着すると負傷するおそれがあります。また、目に入った場合は失明するおそれがあります。

●内部の液体が皮膚や衣類に付着したときは、ただちにきれいな水で洗い流してください。

●目に入ったときは、目をこすらずにきれいな水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください。

内蔵バッテリーが液漏れを起こしているときは、ただちに火気から遠ざける。
漏れた液体に引火し、発火や破裂の原因となるおそれがあります。液体に直接触れないようにして火気から遠ざけてください。

●お買い上げ時には内蔵バッテリーは十分充電されていません。ご使用前に必ず充電を行ってください。
●使用や経年変化による内蔵バッテリーの性能低下が起きた場合は、消耗品交換として有償修理にて対応いたします。お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
●本体を廃棄する際は、本体を分解せずお買い上げの販売店へご相談ください。

●『 使用上のご注意：使用環境と保存環境について 』の項も読みください。

本体の仕様：測位機能

本製品の測位機能について

本製品はGPS、加速度センサー、電子コンパスを利用したナビゲーションシステムです。通常はこれらの 3 つの方法による位置測定を行い、その結果を利用して現在地の表示やルート案内を行います。GPS 測位ができない場所では、加速度センサーおよび電子コンパスでの測位結果を用いて現在地の表示やルート案内を行います。本製品ではそれぞれ方法での測位の結果を総合して現在地を表示します。3 つの方法を併用することにより、測位不能な状況の発生や測位精度の低下を最小限に抑えています。

GPS（Global Positioning System）とは

GPS（Global Positioning System）は、アメリカ国防総省が配備する人工衛星による位置検出システムです。高度 2 万 1,000 メートルを周回する人工衛星から発せられる電波を受信し、三角測量の原理を利用して位置を検出します。4 つ以上の人工衛星からの電波を受信することで、測位が可能になります。一定の時間の間隔で測位を続けることにより、移動軌跡から進行方向の変化も捉えることができます。
GPS 電波は非常に微弱であり、この電波を捉えるため、本製品では内蔵アンテナに特殊な増幅器を組み合わせてGPS 電波を受信しています。

GPS の測位不能や測位の誤差

GPSのみで測位を行う場合、通常は± 30 メートル程度の誤差が生じます。ただし、特殊な条件下ではGPS 電波が弱まって受信できなくなることがあり、その結果、測位ができなくなったり測位精度が低下することがあります。また、正常にGPS 電波を受信していても、走行条件によって誤差が累積され、結果として測位精度が低下することがあります。

●GPS 電波そのものが微弱になり、測位不能になったり精度が低下する場合
GPS 電波は携帯電話などの電波と違い、天空が覆われた場所へは届きにくい性質を持っています。また、金属に反射して届きづらくなったり、弱められることもあります。このためGPS 電波の受信状態は使用する環境や人工衛星の運行状況、他の機器の影響を受けることがあります。具体的には次のような状況でGPS 電波を受信ができなくなったり、測位精度が低下することがあります。
・トンネルや地下駐車場、屋内など天空が覆われている場所
・高架道路の下や密集した樹木の下など、ひさし状になっている場所
・高層ビルの間や山岳地帯の谷間など、天空が狭まっている場所
・熱線吸収ガラスや熱線反射ガラスが組み込まれた車で使用している場合
・使用している場所の上空を通過する人工衛星が少ない時期や時間帯
・携帯電話などの強力な電波を発する機器の近くや、送信施設が付近にある場合

●移動条件によって測位不能になったり測位精度が低下する場合
GPSは移動軌跡から移動速度や進行方向を検出しているため、ゆっくりとした移動やゆるやかな方向の変化を捉えきれず、誤差を累積して測位精度が低下することがあります。長時間GPS 電波を受信しないまま移動したときも、測位精度が低下することがあります。具体的には次のような状況で測位精度が低下するおそれがあります。
・ターンテーブルに乗ったり、らせん状の道路を走行したときやその直後
・フェリーや車両運搬車などで移動したあと
・電源を入れた後、GPS 電波を受信するまで

本体の仕様：測位機能

・分岐の角度が小さいＹ字路を走行したとき
・道幅の広い道路で蛇行運転したとき
・すぐ近くに並行する道路があるとき
・直線やゆるやかなカーブを長距離走った直後

●本製品を初めて使用するとき・長期間使わなかったとき・リセットをしたとき
この場合は、GPS電波を受信するまで15～20分程度かかることがあります。また、このような状況でなくても、本体電源を入れてGPS電波を受信しないまま走行し始めると、かえってGPS電波を受信するまでに時間がかかり、測位精度が低下することがあります。このようなときは、天空が覆われていない場所で、GPS電波を受信するまで停止することをおすすめします。

加速度センサーとは

加速度センサーは速度の変化（＝加速度）を検出するセンサーです。加速度センサーが組み込まれた物体の移動速度の変化を連続して捉えることで、移動速度や進行方向などの状況を検知することができます。加速度センサーは人や物体などによって発生した加速度だけでなく、重力による物体の移動を捉えることもできるため、組み込まれた物体の傾きも検出することができます。

加速度センサーの測定不能や測位の誤差

加速度センサーは移動時の速度の変化を検出するため、一定以上の速度で移動しないと、変化を測定検出できなかったり、精度が低下するおそれがあります。

電子コンパスとは

磁石を利用したコンパスと同様、地磁気から方角を測定します。GPSや加速度センサーと違い、距離の移動がない「その場」での方向転換も、角度の変化として検出することができます。このため移動速度がゆっくりしている徒歩や自転車で使用する場合に特に有効です。

電子コンパスの測位機能について

磁気を利用する特性上、近くに磁石や鉄製品などを置くと測定ができなくなったり、精度が低下するおそれがあります。

加速度センサーと電子コンパスのキャリブレーション

加速度センサーや電子コンパスの精度が低下したと感じたら、キャリブレーションを行ってください。キャリブレーションを行うときは、いったん本体の電源スイッチをオフにしてから再び電源を入れて起動し、起動直後に行うとより精度が高くなります。キャリブレーションは、メインメニューの本体の設定から行うことができます。

また、加速度センサーのキャリブレーションを行うときは、必ず水平な場所で、画面が上になるように置いて行ってください。電子コンパスのキャリブレーションを行うときは、直近にPCなどの機器や磁石、鉄製品がない場所で行ってください。キャリブレーション時にこれらのものの影響を受けると、正しいセッティングができなくなるおそれがあります。キャリブーションの方法は『その他の設定：センサーセッティング』をご覧ください。

使用上のご注意：使用環境と保管環境について

使用時や保管時の温度について

●ご使用になる場所の気温が極端に低かったり、高かったりする場合は、正常に動作しないことがありますが、常温に戻すと正常に動作します。
●長時間使用したり、充電中は本体が熱くなりますが異常ではありません。
●直射日光が当たる場所や炎天下の車内など高温になる場所で長時間使用したり、本製品を放置しないでください。高温になった製品でやけどをしたり、火災や故障、変形の原因となることがあります。
●極端な低温下では、充電容量が極端に少なくなります。
●ご使用にならないときは、極端に高温、または低温にならない場所で保管してください。

保管方法について

●ご使用にならないときは、極端に高温、または低温にならない場所で保管してください。また、安全のため電源を接続せずに保管してください。

●長期間ご使用にならないときは、電源スイッチをオフにして保管することをおすすめします。
●落下や強い衝撃がかかるおそれがない場所へ保管してください。

電波の受信妨害について

●テレビやパソコンなど他の電子機器の近くで使用すると受信妨害が起こり、本製品のGPS電波やワンセグテレビの受信状態が悪くなるおそれあります。
●受信妨害は他の機器にも起こる可能性があります。本製品を使用するときは、なるべく他の電子機器から離れた場所で使用し、同じ車両に複数の機器を設置するのは避けてください。
●携帯電話を近くに置くと雑音が生じることがあります。できるだけ本体から携帯電話を離してご使用ください。

使用上のご注意：外部電源との接続

⚠ 警告

他の機器のACアダプターやDCケーブルを使用しない。
指定以外の部品の使用は、破損や火災の原因となります。また、安全性能が低下し事故や故障の原因となりますので絶対にしないでください。

対応電源以外の電源と接続しない。
ACアダプターは家庭用AC100V、DCケーブルはDC12 ～ 24Vの⊖アース車用です。それ以外の電源と接続すると、破損や火災、故障の原因となります。

ACアダプターやDCケーブルはていねいに扱う。
抜き差しを行うときはプラグを持ち、電源ケーブルを引っ張らないでください。電源ケーブルが傷つき故障や感電、火災の原因となります。また、プラグを変形させないでください。

発電機などを利用したAC100V電源との接続について

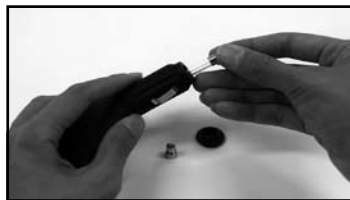
発電機や自動車用のインバーターなどを利用したAC100V電源は電圧が安定しない場合があり、このような電源との接続はACアダプターの破損や本体の故障につながるおそれがあります。必ず安定供給されているAC100V電源へ接続してください。

車のシガーライターソケット電源の使用について

車種によってはエンジン始動時に、瞬間的にシガーライターソケットへ 24Vを超える電圧がかかることがあります。この電流によりシガープラグ内のヒューズ切れやDCケーブルの破損、本体の故障へつながるおそれがあります。シガーライターソケットから電源を取る場合は、必ず車のエンジンをかけた後にDCケーブルを接続し、本体の電源を入れてください。

オートパワーオン／オフ機能

主電源オン／スタンバイボタンオフの状態で外部電源を接続すると、自動的に起動するオートパワーオン機能を備えています。また、起動している状態で外部電源の供給を絶つと、10 秒後に自動的に本体電源を切るオートパワーオフ機能を搭載しています。オートパワーオフ時は、外部電源の供給を止めて 10 秒以内に画面をタッチすると、オートパワーオフを解除し、内蔵バッテリー駆動に切り替えて動作を続けます。

DCケーブルのヒューズ交換

DCケーブルのシガープラグ内にはヒューズが入っています。ヒューズ切れの際は電源を接続しても接続ランプが点灯しません。この場合はヒューズを交換してください。

●本製品にはスペアのヒューズは同梱されていません。万一ヒューズが切れた場合は、市販品のガラス管ヒューズ（ 2A250V ）をお買い求めになり、交換してください。
●『 使用上のご注意：車への取付 』のページもお読みください。

使用上のご注意：オプションと外部機器の使用

⚠ 警 告

指定以外の外部アンテナなどを接続して使用しない。
外部アンテナは必ず指定のものをお使いください。それ以外のものを使用すると、端子の形状が合わずに本体が破損するおそれがあります。

⚠ 注意

フロントパネルの交換は、サイズに合った工具を使用する。
サイズが合わない工具を使用するとネジや本体のネジ山を破損するおそれがあります。

オプション端子に指定以外の部品や他の機器を接続しない。
他の機器やケーブルなどを接続すると、端子の形状が合わずに本体が破損するおそれがあります。また、他の機器の影響を受け、本体の故障などを起こすおそれがあります。

外部接続端子に指定以外の部品を使わない。
使用すると端子の形状が合わず、本体が破損するおそれがあります。

フロントパネルの交換

本体前面のフロントパネルは取り外して交換できるようになっています。サイズが合った精密ドライバーを使用して取付や取り外しを行ってください。サイズが合わない工具を使うとネジが破損して取付や取り外しができなくなったり、本体のネジ穴が破壊されるおそれがありますので、絶対にしないでください。また、付属のネジは大変小さい部品ですので、紛失にはご注意ください。

外部アンテナの取付

専用外部GPSアンテナ（別売）、専用外部ワンセグアンテナ（別売）が使用できます。いずれも端子の形状は本製品専用になっているため、他の機器用の外部アンテナは使用できません。取り付けの際は、オプションに同封されている取付説明書をよくお読みになり、手順に従って取り付けてください。

オプション端子への機器の接続

オプション端子は、本製品専用のオプション（別売）を接続するために設けられています。他の機器を接続することはできませんので、絶対にしないでください。

外部接続端子への機器の接続

外部接続端子へ接続できるものは次の通りです。

●ヘッドホン端子（φ 3.5 ミリ ミニプラグ）
市販のヘッドホンやイヤホンをそのまま接続し、音声をお楽しみいただけます。
●AV 端子（専用 AV 出力ケーブル）本製品専用 AV 出力ケーブル（別売）を接続して、外部のモニターなどに映像や音声を出力できます。市販の AV ケーブルは使用できませんのでご注意ください。

使用上のご注意：microSDカードの使用

本製品にはmicroSDカードは付属しておりません。以下の基準に適合する市販品をご使用ください。

●推奨メーカー：東芝、SanDisk

●サポート規格：microSDカード（2GB以下）、SDHC（2～8GB）

●ファイルフォーマット形式：FAT（microSDカード）、FAT32（SDHC）

上記以外のmicroSDカードの動作保証はいたしかねます。

⚠ 警告

microSDカードの読み込み中にmicroSDカードを本体から取り出さない。
microSDカード内のデータが破損するおそれがあります。

microSDカード内のデータのバックアップを取る。
microSDカード内のデータは静電気などの影響で、記録したデータが消去されたり使用できなくなるおそれがあります。必ずPCなどへバックアップを取ってください。何らかの理由でmicroSDカード内のデータが損傷した場合、理由の如何を問わず弊社ではデータの復元や、損傷したデータに対する補償はいたしかねます。

必ず推奨microSDカードを使用する。
本製品に適合していないmicroSDカードを使用すると、本体の動作が不安定になったり、microSDカードへ記録したデータが消去されるおそれがあります。お客さまが推奨品以外のmicroSDカードを使用し、microSDカードへ記録したデータが何らかの損害を受けた場合でも、補償はいたしかねますのでご了承ください。

microSDカードスロットに指定以外のメディアを差し込まない。
コンパクトフラッシュやメモリースティックなどのメディアには対応していません。指定以外のメディアを無理に差し込むと、スロットの損傷につながるおそれがあります。

microSDカードでできること

本製品はmicroSDカードへ記録したナビゲーション機能拡張データを使い、さらに詳しいデータや地図などを使ってナビゲーションを行うことができます。ナビゲーション中の走行軌跡をmicroSDカードへ記録したり、専用アプリケーションを収録して様々なコンテンツを楽しむこともできます。音声・音楽や画像、動画などを再生することができます。ワンセグ放送をmicroSDカードへ録画することも可能です。

microSDカードのデータを使うには

microSDカードへデータを書き込む前に、PCなどを使って必ずフォーマットを行ってください。フォーマット形式はmicroSDカードの規格により異なります。フォーマット後に、次ページを参考にフォルダ作るか、本体に装着して起動してフォルダを作成し、データを書き込みます。データを書き込んだmicroSDカードを装着してから本体電源を入れて起動します。microSDカードを取り出すときは、必ず本体の電源を切ってから取り出してください。本体の動作中にmicroSDカードが取り出されると、本体の動作を中止して自動的に再起動が行われます。

使用上のご注意：microSDカードの使用

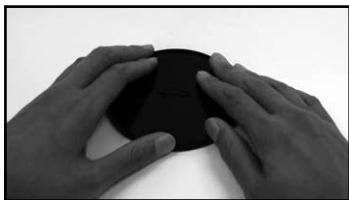
microSDカード内フォルダディレクトリ一覧

お使いになるmicroSDカードを本体に挿入すると、自動的に下記フォルダ及びファイルが生成されます。

```
1SEG（フォルダ）
 |  →初回の本体起動時に自動的に作成されるフォルダです。
 |  ワンセグ録画データが保存されます。
 |
MOVIE（フォルダ）
 |  →初回の本体起動時に自動的に作成されるフォルダです。
 |  MP4/WMV/H.264 ファイルを保存すると再生することができます。
 |
MUSIC（フォルダ）
 |  →初回の本体起動時に自動的に作成されるフォルダです。
 |    MP3/WMAファイルを保存すると再生することができます。
 |
PHOTO（フォルダ）
 |  →初回の本体起動時に自動的に作成されるフォルダです。
 |    JPEG/BMPファイルを保存すると再生することができます。
 |
NAVI_APP（フォルダ）
 |    →初回のナビゲーション起動時に作成されるフォルダです。
 |
 ├DOWNLOAD（フォルダ）（MAPLUS.webからのダウンロードデータの保存）
 |      ├mapcity_data（市街地図データ）
 |      ├route_date（MAPLUS.web作成ルートデータ）
 |      ├recommend（オススメスポットデータ）
 |      ├mapcolor_data（地図色パレットデータ）
 |      ├voice_data（案内音声データ）
 |      └svoice_data（センサー連動音声データ）
 ├gpslog_data（あしあとログ出力先）
 ├favorite（おこのみスポット登録画像・音楽データ）
 └eco_data（エコドライブモードデータ）
```

■uid.dat（ファイル）

→初回のナビゲーション起動時に作成されるファイルです。本体の固有IDデータが記録されています。

使用上のご注意：車への取付

取付の手順

あらかじめ付属のアルコールパッドで、貼り付ける面を脱脂し、きれいに拭いてください。吸着ベース板裏面の両面テープのシールをはがし、車のダッシュボードの平らな場所へ貼付します。

標準取付スタンドを吸着ベース板に密着させます。脱気レバーを手前に倒して吸盤内の空気を抜き、しっかり吸着させます。ガタやぐらつきなどがないことを確認してください。

標準取付スタンドのクレードル取付部に、クレードルの取付スタンド取付穴を合わせてはめ込み、しっかり止まるまで押し下げて固定します。

クレードルの本体取付レールを本体背面のクレードル取付スリットへ差し込み、固定します。「カチッ」と音がするまで確実に押し下げてください。

標準取付スタンドの角度調節ノブで画面を見やすい方向へ調整し、締め付けて固定します。車のエンジンをかけた後にDCケーブルの電源プラグを本体へ接続し、シガープラグを車のシガーライターソケットへ差し込んでから起動します。

使用上のご注意：車への取付

車での使用時には

●『 安全上のご注意 』の項をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りいただいてご使用ください。

●一部車種のフロントガラスに使用されている熱線吸収ガラスや熱線反射ガラスによのそばでは、これらのガラスによりGPS電波が弱められ、受信性能が落ちるおそれがあります。このような場合は影響が少ない位置に本体を移動するか、外部GPSアンテナ（ 別売 ）を接続し、GPSアンテナ部を影響の少ない場所に設置してお使いください。

●車への取付については、『 使用上のご注意：外部電源との接続 』の項もお読みください。

充電ランプ・電源ランプの表示／リセット

充電ランプの表示

充電ランプは赤色LEDが点灯し、外部電源の接続やバッテリーの充電状態をお知らせします。

ランプが点灯しているとき
外部電源から内蔵バッテリーを充電中です。フル充電になると自動的にランプが消えて充電完了をお知らせします。

本体が起動中で、ランプが点灯していないとき
外部電源が接続されておらずバッテリーで駆動している状態です。

電源ランプの表示

電源ランプは緑色LEDが点灯・点滅し、本体の動作状態をお知らせします。

ランプが常時点灯しているとき
外部電源が接続されている状態で、本体が動作しています。

ランプが点滅しているとき
外部電源が接続されておらず、内蔵バッテリーで本体が動作しています。

ランプが点灯していないとき
本体は動作していません。

リセット

使用中に動作が極端に遅くなったり、動かなくなった場合は本体右側面のリセットボタンを押し、本体のリセットを行ってください。リセットを行うと内部メモリーがクリアされ、ナビゲーション機能の検索履歴や現在地の情報などは消去されます。

電源を入れ起動する

お買いげ時は内蔵バッテリーが十分充電されていません。ご使用の前に必ず充電を行ってください。スタンバイボタンまたは電源スイッチから本体電源を入れて本体を起動します。工場出荷時は電源スイッチがオフになっていますので電源スイッチから起動してください。

電源スイッチとスタンバイボタンについて

本体左側面の電源スイッチは本体の主電源をコントロールするものです。このスイッチから電源を切ると、本体に一時的に記憶されていたデータ（検索履歴など）が消去されます。お買い上げ時はオフになっていますので、最初はこちらから本体電源を入れてください。

本体右側のスタンバイボタンは一時的に電源を切るためのものです。主電源が入った状態（電源スイッチがオンの状態）でこのボタンから電源を切った場合は、直前に使用していた状態がそのまま保存されます。通常は主電源入った状態のまま、スタンバイボタンから電源をオン／オフすることをおすすめします。

モード選択画面で、操作モードを選びます。

●ドライバーモード

ナビゲーション機能は移動速度が 10km/h以上になるとタッチパネルをロックし、操作できなくなります。ワンセグテレビ、メディアプレーヤーは速度に関係なく使用できなくなります。

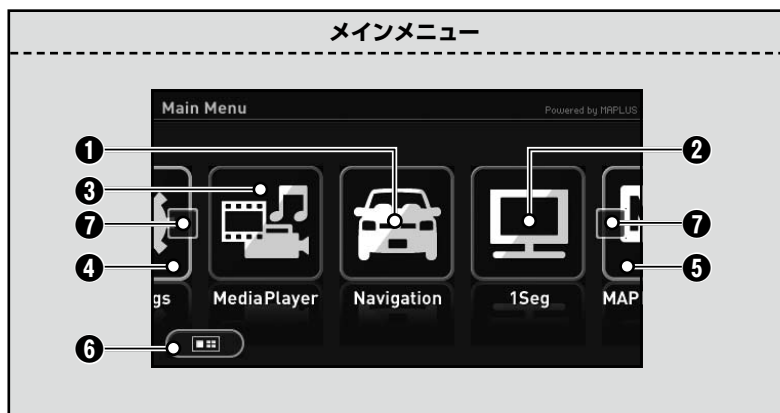
●助手席モード

移動速度に関係なく常時使用可能です。

⚠ 警告

運転中は画面を注視せず、操作を行わない。
運転中は必ず『ドライバーモード』で使用し、運転者は操作を行わないでください。また、画面を注視しないでください。

起動画面に続いてメインメニューが表示されます。

メインメニュー画面

メインメニュー

メインメニュー

操作モードを選択後に表示される基本メニューです。ナビゲーションやメディアプレーヤー、ワンセグテレビなど機能を起動したり、画面の明るさや音量などの本体の全体的な設定を行います。また、本体のメインメニューボタンを押すとこの画面が表示されます。

---

❶ナビゲーションボタン

ナビゲーション機能を起動します。

（→ナビゲーション機能の項へ）

❷ワンセグテレビボタン

ワンセグテレビを起動します。

（→ワンセグテレビの項へ）

❸メディアプレーヤーボタン

ミュージックプレーヤー、ムービープレーヤー、フォトビューアを起動します。

（→メディアプレーヤーの項へ）

メニュー一覧表示

❹セッティングボタン

液晶ディスプレイや音声出力、バッテリー、センサーに関する設定や確認を行います。

（→本体の基本的な設定の項へ）

❺『MAPLUS Appli』アイコン

収録した『MAPLUS Appli（マップラスアプリ）』などを起動します。

❻メインメニュー表示切替

この画面のアイコンの配列を変更します。

❼スクロールボタン

メインメニューの横スクロールをします。

表示方法の変更

メインメニュー切替ボタンにタッチすると、全てのボタンを一画面に表示します。

chapter 03　ナビゲーション機能：地点検索

地図画面の基本的な使い方

メインメニューからナビゲーション機能を起動すると、最初に表示されるのが現在地画面です。GPS電波を受信すると現在地を正しく表示し、検索メニューでの現在地もその場所になります。GPS電波を受信できない場合は最後にGPS電波を受信した位置を現在地として表示し、検索時もその場所を現在地として設定します。また、画面に直接触れることで地図をスクロールすることができます。

---

1 現在地を表示する

電源を入れてGPS電波を受信すると、現在地を表示します。地図の表示方向を切り替えたり、案内／表示ボタンの整理などを行うことができます。また、直接地図に触れ、地図をスクロールすることができます。

---

2 付近の地点情報を調べる

地図画面からナビゲーションバーを呼び出し、様々な機能を使うことができます。この地点付近の施設を簡単に検索したり、目的地などに設定して詳しいルート設定をすることができます。また、施設や地点を登録したり、地点情報をQRコードにして携帯電話などで読み込ませることもできます。

---

3 ナビゲーションメニューを使う

ナビゲーションバーからナビゲーションメニューを呼び出します。詳しい地点検索やルート設定、各種設定、登録したデータの管理など、操作の基本となる画面です。

---

4 地点を検索する

施設の名称や住所、電話番号などを入力して、お好みの施設や地点を検索し地図上に表示します。

---

5 地点を登録する（おこのみスポット）

P63

現在地や検索した地点、施設を、おこのみスポットとして登録します。

⚠ 警告

運転したり、歩きながら本製品の操作や注視をしない。

事故の原因となります。特に運転者が運転中に操作することは大変危険です。運転中はドライバーモードで使用し、運転者は操作を行わないでください。

交通規則や実際の道路状況に従って走行する。

ナビゲーションと実際の交通状況が合っていないときに、無理にナビゲーションに従って走行すると事故の原因となります。状況に合わせて走行してください。

現在地画面／地図画面

現在地画面

ナビゲーションを起動すると最初に表示される画面です。GPS電波を受信すると位置を測定し正しい現在地を表示します。GPS電波を受信できないときは、最後にGPS電波を受信した位置を現在地として表示します。

---

❶地図方向表示／切替ボタン

地図の表示モード（ヘディングアップ／ノースアップ）を表示します。タッチして表示方法を切り替えます。

❷現在時刻表示

現在の時刻を表示します。

❸現在地表示

現在地を表すとともに、GPS電波の受信状態を表示します。矢印が赤色のときはGPS電波を受信しています。

❹地図縮尺表示／縮尺切替バー表示ボタン

現在表示されている地図の縮尺を表示します。縮尺表示をタッチすると縮尺切替バーを表示／縮小します。縮尺表示バーは、上限のプラス（＋）またはマイナス（-）をタッチすることで地図の縮尺を切り替えることができます。また、バー上を上下になぞることでも縮尺切替が可能です。

❺現在地名表示／道路名表示

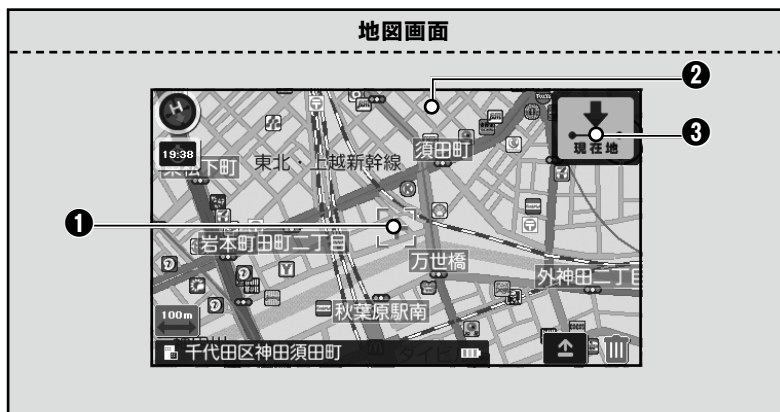
現在地のエリア名を表示します。道路名称のある大きな道路にいる場合は、タッチすると道路の名称を表示します。

❻ナビゲーションバーボタン

ナビゲーションバーを表示します。

❼ごみ箱ボタン

地図方向表示／切替ボタンや現在時刻表示などの一部のボタンは、ごみ箱へドラッグして捨てることにより画面から消すことができます。ごみ箱をタッチすると一旦消去したボタンが一覧表示され、選択すると画面上へ戻ります。

また、ごみ箱にはあらかじめミュージックプレーヤー操作パネルボタンが入っています。これはミュージックプレーヤーをナビゲーション画面からコントロールできる操作パネルを呼び出すためのボタンです。このボタンも、ごみ箱の中から選択することにより画面に常時表示させることができます。

現在地画面／地図画面

地図画面

地図に直接タッチして、地図をスクロールしていくことができます。地図の中心にしたい点をタッチしたり、地図をなぞることでもスクロールできます。

---

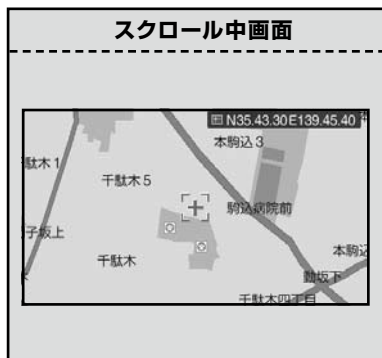
❶地図中心点表示

地図の中心点を示します。

❷中心地点施設名表示

中心地点に何らかの施設があるときは、その名称を表示します。

❸現在地ボタン

タッチして現在地画面へ戻ります。

スクロール中の地図上では、ボタンの表示などは省略されます。

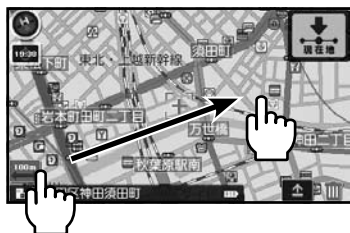
中心地点施設名表示にはスクロール中は、タッチしている地点の緯度経度を替わりに表示します。

現在地画面／地図画面

地図のスクロール：
中央にしたい点をタッチする

地図画面の中心に表示したい点を 1 回タッチすると、地図が移動してタッチした点を中心とする地図が表示されます。

地図を見たい方向をタッチし続ける

地図が移動し続けます。最終的に画面から離した地点を中心とした地図が画面に表示されます。

地図をなぞる

画面上でタッチした地点を、離した地点まで持ってくることができます。

地図の縮尺を変更する

地図縮尺表示／縮尺切切替バー表示ボタンにタッチし、縮尺切替バーを表示します。

縮尺切替バーが画面左側いっぱいまで表示されます。上下のプラス（+）またはマイナス（-）の表示をタッチして、地図の縮尺を切り替えます。

縮尺切替バーの中央をなぞることでも、地図の縮尺を変更することができます。

画面の地図部分をタッチすると縮尺切替バーを閉じます。

ごみ箱機能を使う

一部のボタンや表示は、画面右下のごみ箱に入れることにより画面上に表示しないよう設定できます。非表示にしたいボタンや表示にタッチし、そのまま画面をなぞってごみ箱の上へ移動（ドラッグ）します。

ボタンがごみ箱に入り、画面に表示されなくなります。同時に案内設定や表示設定も、画面に表示されない設定に切り替わります。

ごみ箱ボタンにタッチすると、ごみ箱に入れたボタンや表示が一覧表示されます。元に戻したいときはこの中から選択すると、ボタンが画面に戻ります。画面の地図部分をタッチするとごみ箱内容の一覧を閉じます。

現在地画面／地図画面

ナビゲーションバー表示（地図画面）

ナビゲーションバー

現在地画面や地図画面で、ナビゲーションバーボタンをタッチすると表示されます。この地点や地点周辺に関して、検索や設定を行ったり、ルート案内時には案内についてのメニューを表示します。ナビゲーションメニュー画面への移動もここから行います。

❶案内ポップアップボタン

ルート案内時に使用するポップアップメニューを表示します。

❷周辺検索ポップアップボタン

周辺検索ポップアップを表示します。

❸地点メニューポップアップボタン

地点メニューポップアップを表示します。

❹戻るボタン

地点検索などを行っているときに、前画面に戻ります。

❺ナビゲーションメニューボタン

ナビゲーションメニュー画面を表示します。

❻ナビゲーションバー閉ボタン

ナビゲーションバーを閉じます。

現在地画面／地図画面

ミュージックプレーヤー操作パネル表示

現在地画面

ナビゲーション中、microSDカードへ収録した音声ファイルをミュージックプレーヤーで再生することができます。この操作パネルを呼び出すボタンは初期状態ではごみ箱の中にあり、使用するにはごみ箱から出し画面上に配置する操作が必要です。

---

❶前の曲を選択ボタン

❷再生ボタン

再生中は停止ボタンになります。

❸次の曲を選択ボタン

❹リピートモード選択ボタン

❺ミュージックプレーヤー音量調節ボタン

上のスピーカーのボタンをタッチすると音量が上がり、下のボタンを押すと下がります。このコントロールは、ミュージックプレーヤーで再生中の音声にのみ適用されます。ナビゲーションの音声のコントロールはここではできません。

❻操作パネル閉ボタン

ミュージックプレーヤー操作パネルを閉じ、地図画面へ戻ります。

現在地画面／地図画面

周辺検索ポップアップ画面画面

ナビゲーションバーから周辺検索を選択すると、表示現在地またはスクロールで移動した任意の地点の周辺施設を検索できます。検索結果をリスト表示するほか、施設の位置を地図上で直接見られるレーダー表示もできます。

❶周辺検索ポップアップ

現在地または任意の地点周辺の施設を、近い順に検索し現在地からの距離とともにリスト表示します。リストの施設名をタッチすると、地図と地点メニューを表示し、目的に設定したりおこのみスポットに登録できます。

周辺検索ポップアップ内にある施設ジャンルは次の通りです。

●近くのコンビニ

●近くのトイレ

●近くのガソリンスタンド

●近くの駐車場

●近くの病院

●近くの駅

●もっと見る

周辺検索ページを開き、ポップアップメニュー内にないジャンルの施設を周辺検索できます。

●レーダー表示

検索したポットを地図上でより見やすく表示します。

現在地画面／地図画面

近くの施設検索結果

検索結果を施設名と現在地の距離とともにリスト表示します。

❶候補リスト

検索結果を距離とともにリスト表示します。施設名をタッチすると地図を表示し、目的地などに設定してルート案内をすることができます。

❷スクロールボタン

候補リストの前ページ／次ページを表示します。

❸戻るボタン

前画面に戻ります。

❹現在地ボタン

現在地画面に戻ります。

レーダー表示

検索された施設を地図上でより見やすく表示します。

❶ジャンル選択ボタン

タッチして地点検索する施設のジャンルを選びます。ボタンをタッチするとジャンル選択ポップアップが表示されるので、ジャンルを選択します。

❷施設選択ボタン

レーダー表示する施設を選びます。

❸施設名表示

レーダー表示している施設名と、その施設までの距離を表示します。

❹地点メニューポップアップボタン

❺戻るボタン

現在地画面に戻ります。

地点メニューポップアップ

地点メニューポップアップ

ナビゲーションバーから地点メニューボタンを選択すると、地点ポップアップメニューを表示します。目的地などに設定してルート探索を行ったり、自宅やオービスポイントなどへの設定もできます。

---

❶地点メニューポップアップ

この地点を起点にしたルート探索や地点登録（おこのみスポット登録）などのメニューが選べます。

地点メニューポップアップ内にあるメニューは次の通りです。

●ここへ行く

目的地に設定し、ルート案内を始めます。

●自宅に帰る

自宅までのルートを探索し、ルート案内を開始します。

●目的地にする／経由地にする／出発地にする

ルート設定画面を表示し、ルート探索を行います。

●別道路に切り換え

有料道路と側道が並行している場所にいるときに、ナビ上で走行している道路を変更することができます。

●おこのみスポットに登録

おこのみスポット登録画面を表示し、この地点をおこのみスポットとして登録します。

●オービス登録

オービス地点として登録できます。

●自宅に登録

自宅地点として登録します。

●QRコードを表示

この地点の位置情報をQRコードとして画面に表示します。携帯電話などで読み取ると、ウェブサイト上にこの地点を表示できます。

ナビゲーションメニュー画面の基本的な使い方

ナビゲーションメニュー画面は、地点検索を中心に様々なメニューへの入り口となる画面です。画面には各種の地点検索メニューが並ぶほか、ルート設定画面や登録管理メニュー、ナビゲーション設定メニューへ移動することができます。

1 地点検索を行い地図を表示する

住所や電話番号など様々なメニューから目的の地点を検索し、地図を表示します。表示させた地図画面から地点設定メニューや周辺検索メニューを使って、さらに検索を行ったり、ルート案内を行うことができます。表示した地図からは、地点登録（おこのみスポット登録）を行うことができます。

2 ルートを探索して案内をする

目的地や経由地、探索モードなどを設定してルート探索を行います。探索したルートを比較したり、デモ走行して実際の走行ルートを確認することができます。設定したルートは保存しておくこともできます。

3 登録データや設定を管理する

おこのみスポットや自宅、オービス登録したデータの編集を行います。また、ナビゲーションの表示や音声、案内などを使いやすく設定することができます。走行軌跡を記録するあしあと記録や、エコドライブモードもここから設定します。

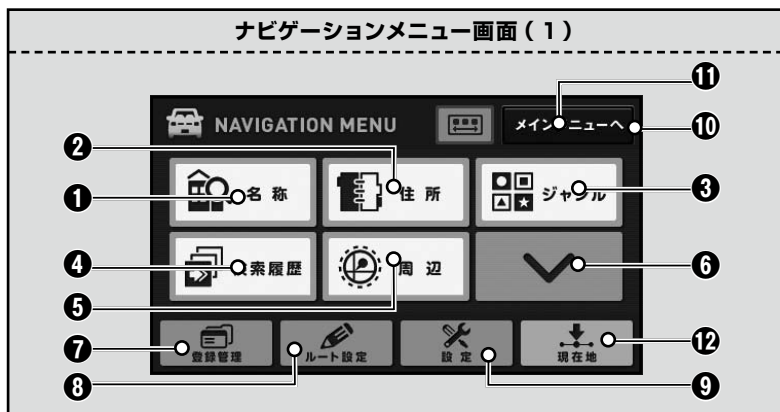
⚠ 警告

運転したり、歩きながら本製品の操作や注視をしない。

事故の原因となります。特に運転者が運転中に操作することは大変危険です。運転中はドライバーモードで使用し、運転者は操作を行わないでください。

交通規則や実際の道路状況に従って走行する。

ナビゲーションと実際の交通状況が合っていないときに、無理にナビゲーションに従って走行すると事故の原因となります。状況に合わせて走行してください。

ナビゲーションメニュー画面

ナビゲーションメニュー画面（1）

ナビゲーションメニュー画面は、地点検索や各種の設定の入り口となる画面です。画面上部に表示されるボタンは地点検索メニューです。それぞれ表示されている方法で地点検索ができます。画面最下段にされているのは設定・管理メニューです。

---

❶名称検索ボタン

名称検索画面を開き、目的の施設名を直接入力して施設検索を行います。

❷住所検索ボタン

住所検索画面を開き、住所から地点検索を行います。

❸ジャンル検索ボタン

ジャンル検索画面を開き、カテゴリーとエリアから施設を検索します。

❹検索履歴ボタン

これまで検索した地点や施設をリストアップします。

❺周辺検索ボタン

現在地周辺の施設を、カテゴリー別に検索します。

❻地点検索メニュースクロールボタン

ナビゲーションメニュー画面（２）を開き、他の地点検索メニューを表示します。

❼登録管理メニューボタン

本体などに登録した地点登録データ（おこのみスポット）やオービス情報などを編集する、登録管理メニュー画面を開きます。

❽ルート設定ボタン

ルート設定画面を表示し、ルート探索を行います。モード切替などもここで行います。

❾設定メニューボタン

画面表示などナビゲーション設定を行う設定メニュー画面を表示します。

❿ナビゲーション機能終了ボタン

ナビゲーションを終了しメインメニューへ戻ります。

⓫ボタン配列切替ボタン

この画面の地点検索ボタンの配列を変更します。

⓬現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

ナビゲーションメニュー画面

ナビゲーションメニュー画面（２）

ナビゲーションメニュー画面（2）

ナビゲーションメニュー画面（2）では、（1）で表示されていない地点検索メニュー表示します。

---

❶電話番号検索ボタン

電話番号を直接入力して施設を検索します。

❷緯度経度検索ボタン

緯度経度を直接入力して地点を検索します。

❸スクロールボタン

ナビゲーションメニュー画面（１）を開きます。

❹地図検索ボタン

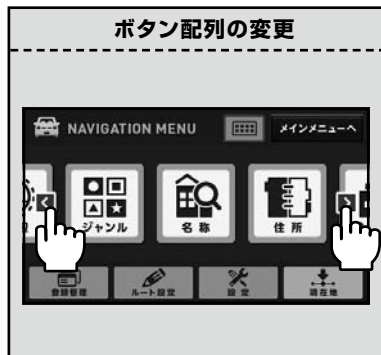
地図画面を開いて地図をスクロールし、地点や施設を探します。

❺登録地点検索ボタン

おこのみスポット登録（地点登録）などを行っている地点や施設を検索します。

❻自宅検索ボタン

あらかじめ登録している自宅地点を検索します。

ボタン配列の変更

ボタン配列切替ボタンをタッチすると、地点検索メニューが一覧表示から横一列の配列に変わります。左右のスクロールボタンをタッチすると、画面の外へ隠れているボタンを表示できます。

地点検索：名称検索

名称検索画面

名称検索

目的の施設の名称を直接入力して検索します。入力できるのはひらがなのみです。名称の一部分だけ入力しても検索は可能です。名称を入力した後、その施設がある都道府県を選択すると、該当する施設を表示します。

❶入力ウィンドウ

入力した文字が表示されます。

❷文字入力キー

文字を入力します。あかさたな行のキーを押していくと、その行のひらがなが順に表示されます。濁音や小さい「っ」の入力は、該当のひらがなを入力した後に「小」ボタンを押します。

❸バックスペースキー

カーソルの前の1文字を消去します。

❹スペースキー

スペースを入力します。

❺カーソル移動キー

カーソルを移動します。

❻検索ボタン

入力された名称で検索を開始します。

❼戻るボタン

ナビゲーションメニュー画面へ戻ります。

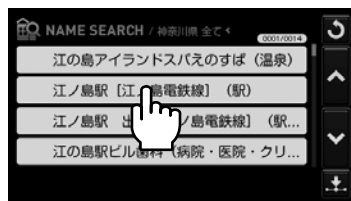
❽現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

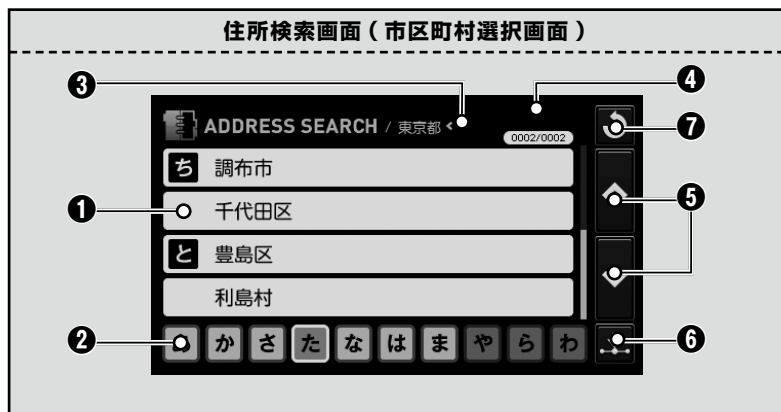
地点検索：名称検索

ナビゲーションメニューから名称検索を選択し、名称検索画面を開きます。

名称検索画面で施設の名称を入力し、検索ボタンをタッチします。

目的の施設がある場所を、エリア、都道府県の順に選択していきます。

候補リストが表示されます。目的の施設を選択します。別のエリアで検索するときは、戻るボタンをタッチして前画面に戻ります。

目的の施設が地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

地点検索：住所検索

住所検索画面

丁目、番地、号までの住所を検索し、地図を表示します。市区町村以下の地域名まではリストから選択し、丁目以下はリストからの選択または直接数字を入力して絞り込み、選択します。また、都道府県以下は代表地点(そのエリアのおおよその中心点)も選択できます。

❶候補リスト

地名や番地などの候補が一覧表示されます。直接候補にタッチして選択します。

❷文字／数字入力キー

市区町村選択画面、地名選択画面では、あかさたな行のキーが表示されます。選択すると候補リストをスクロールし、選択した頭文字の部分へジャンプします。

番地、号検索画面では数字キーが表示されます。直接数字を入力でき、入力された数字に応じて候補リストの絞り込みを行います。

❸検索内容表示ウィンドウ

前ページまでの検索内容が表示されています。数字キーを使っているときは、入力中の数字が表示されます。

❹バックスペースキー

数字キーを使っているときは、入力した文字を１文字消します。

❺スクロールボタン

候補リストをスクロールします。

❻戻るボタン

前画面へ戻ります。

❼現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

地点検索：住所検索

ナビゲーションメニューから住所検索を選択し、住所検索画面を開きます。

エリア、都道府県を順に選択します。

市区町村、地域名を選択します。候補はあいうえお順に並んでいます。スクロールキーを使うか、頭文字キーでリストをスクロールして目的の地名を探してください。丁目がある地点を探すときは、目的の丁目の数字が入った地域名を選択してください。代表点を選択すると、直接代表点の地図を表示します。

番地、号を選択します。候補リストは数字の若い順に並んでいます。スクロールボタンを使って目的の数字を探すか、数字を入力して絞り込んで目的の番地を探してください。

目的のスポットが地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

地点検索：ジャンル検索

ジャンル検索画面

見る、遊ぶ、食べるなどの目的別と、観光名所、美術館・博物館など施設ジャンル別の２段階のジャンルに分類されている施設を、地域を指定して検索することができます。

---

❶候補リスト

ジャンルや地名が一覧表示されます。直接候補にタッチして選択します。

❷戻るボタン

前画面へ戻ります。

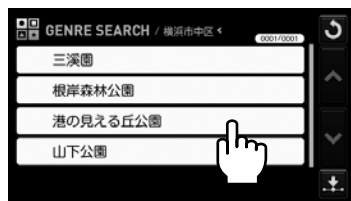
❸現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

地点検索：ジャンル検索

ナビゲーションメニュー画面からジャンル検索ボタンをタッチします。

大ジャンルを選択し、さらに表示される小ジャンルを選択します。

施設を探すエリア、都道府県、市区町村の順に選択します。

候補がリストアップされるので、目的の施設をタッチします。

目的の施設が地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

地点検索：検索履歴

検索履歴画面

検索履歴

これまで検索した地点を一覧表示します。ここで履歴として登録されるのは、検索時に地図表示まで行われた地点や施設です。目的地検索など、ルート編集中に地図表示まで行われたスポットも含みます。検索中に候補として表示されただけでは履歴は残りません。

❶検索履歴リスト

これまで地点検索された地点や施設を、新しい履歴から順に最大 20 件まで表示できます。最大 100 件まで保存でき、21 件目が保存されると、1 件目は表示されなくなります。ただし、最近から 20 件以内で削除された地点や施設があったときは、1 件目が再び表示されるようになります。101 件目が登録されると、1 件目の履歴は削除されます。よく使う地点や は地点登録 (おこのみスポット登録) を行うことをおすすめします。

❷目的地履歴ボタン

地点検索の中でも、目的地として設定されたことがある地点や施設

だけを表示します。

❸履歴削除ボタン

選択した履歴を削除します。

❹スクロールボタン

候補リストをスクロールします。

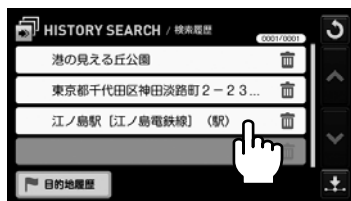
❺戻るボタン

前画面へ戻ります。

❻現在地ボタン

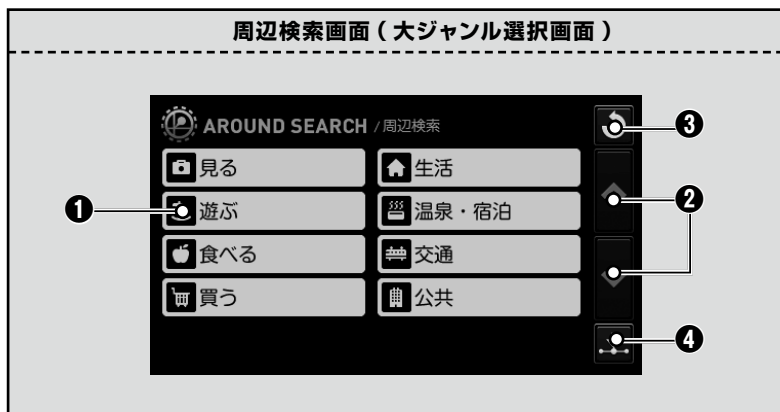
現在地画面へ戻ります。

地点検索：検索履歴

ナビゲーションメニュー画面から検索履歴ボタンをタッチします。

履歴がリスト表示されます。目的の候補を選択します。

目的の地点や施設が地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

地点検索：周辺検索

周辺検索画面（大ジャンル選択画面）

周辺検索

現在地周辺のスポットをジャンル別に検索します。ジャンル検索同様、目的別・施設別の各段階で候補を絞り込みます。リストの表示順は現在地から近い順になり、現在地からの距離も表示します。

❶候補リスト

ジャンルや地名が一覧表示されます。直接候補にタッチして選択します。

❷スクロールボタン

候補リストをスクロールします。

❸戻るボタン

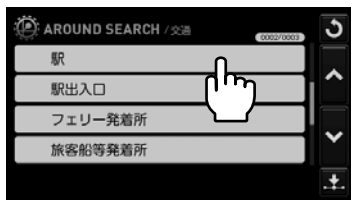
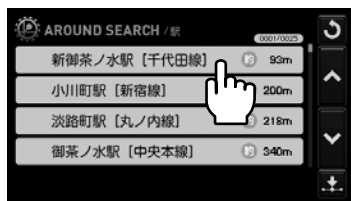
前画面へ戻ります。

❹現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

地点検索：周辺検索

ナビゲーションメニュー画面から周辺検索ボタンをタッチします。

大ジャンルを選択します。

さらに表示される小ジャンルを選択します。

候補がリストアップされるので、目的の施設をタッチします。

目的の地点やが地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

地点検索：電話番号検索

電話番号検索画面

電話番号検索

店舗や会社など法人電話番号を、直接入力して検索できます。番号が完全に一致した場合のみスポットを表示します。完全に一致する電話番号がデータベースにない場合は表示されません。

---

❶入力ウィンドウ

入力した文字が表示されます。

❷テンキー

電話番号を入力します。

❸バックスペースキー

カーソルの前の１文字を消去します。

❹カーソル移動キー

カーソルを移動します。

❺検索ボタン

入力された電話番号で検索を開始します。

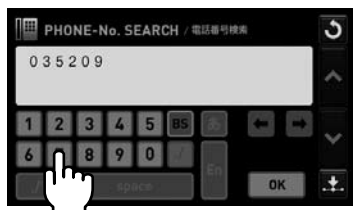
❻戻るボタン

ナビゲーションメニュー画面へ戻ります。

❼現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

地点検索：電話番号検索

ナビゲーションメニュー画面から電話番号検索ボタンをタッチします。

テンキーを使って電話番号を入力します。必ず市外局番から入力してください。携帯電話の番号は検索できません。

入力が終わったら検索ボタンをタッチします。

目的の施設が地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

地点検索：緯度経度検索

緯度経度検索画面

緯度経度検索

緯度経度から地点検索し、表示します。数値は日本測地系の値を入力します。

---

❶緯度入力ウィンドウ
入力した文字が表示されます。

❷経度入力ウィンドウ
入力した文字が表示されます。

❸テンキー
数字を入力します。

❹バックスペースキー
カーソルの前の１文字を消去します。

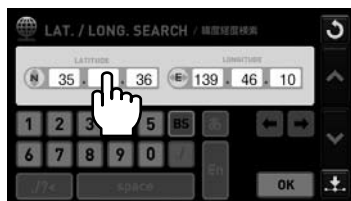
❺カーソル移動キー
カーソルを移動します。

❻検索ボタン
入力された緯度経度で検索を開始します。

❼戻るボタン
ナビゲーションメニュー画面へ戻ります。

❽現在地ボタン
現在地画面へ戻ります。

地点検索：緯度経度検索

ナビゲーションメニュー画面から緯度経度検索ボタンをタッチします。

緯度経度を入力します。ウィンドウにタッチしてカーソルを移動させてから、バックスペースキーで入力されている数値をクリアし、あらためて検索する緯度経度をそれぞれ入力します。

入力が終わったら検索ボタンをタッチします。

目的の施設が地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

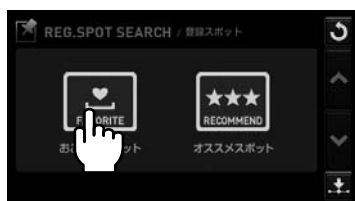
地点検索：地図から探す

地図画面から直接スポットを探します。ナビゲーションメニュー画面から地図から検索ボタンをタッチします。

現在地付近の地図が表示されます。地図画面をスクロールして目的の地点を探します。

地図画面が表示されたときは地点メニューポップアップが表示されていますが、地図をスクロールすると閉じます。再び表示させるには、ナビゲーションバーの地点ポップアップアイコンをタッチします。

地点検索：登録スポットから探す

あらかじめ登録した地点 (おこのみスポット) からスポットを探します。ナビゲーションメニュー画面から登録スポットボタンを押します。

フォルダがリスト表示されます。目的のスポットが収録されているフォルダを選択します。

おこのみスポットフォルダ一覧画面が表示されます。目的の地点や施設が収録されたフォルダを選びます。

フォルダの内容が一覧表示されます。目的の地点や施設を選びます。

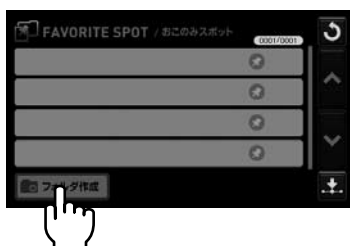
目的が地図上に表示されます。地点ポップアップメニューも同時に表示されるので、目的に応じてメニューを選択します。リストに戻るには、ナビゲーションバーの戻るボタンをタッチします。

地点検索：自宅を探す

自宅検索機能を使うには、あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。自宅を検索するときは、ナビゲーションメニュー画面から自宅検索ボタンをタッチします。

あらかじめ自宅として登録した地点を表示します。

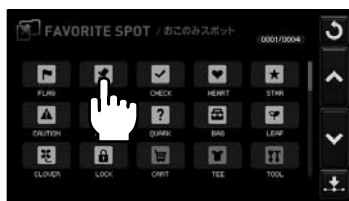
スポットを登録する（おこのみ登録）

検索した地点をおこのみスポットとして登録しておくことができます。登録したい地点を表示し、地点ポップアップからおこのみスポットに登録を選びます。

おこのみスポットは、任意で作成したフォルダに分類して登録します。登録ボタンを押すとフォルダ一覧画面が開くので、既存のフォルダへ登録するときは登録するフォルダを選択します。フォルダを作成していない場合は、作成ボタンを押して新しいフォルダを作成します。

フォルダ名を入力して決定ボタンを押します。

フォルダ一覧画面に新しいフォルダができます。スポットを登録するフォルダを選択します。

登録画面が表示されます。スポット登録時には、スポットに分類アイコンを登録し、地図上で表示するときにそのアイコンを使ってスポットを表示できます。アイコン選択ボタンをタッチします。

地点を登録する（おこのみスポット登録）

アイコン一覧が表示されるので、好みのアイコンを選びます。

スポット登録画面に戻り、登録ボタンを押します。

スポットが登録されました。登録したおこのみスポットは、登録管理のおこのみスポット管理画面から見ることができます。また、登録後はスポットごとに説明文や写真、音楽を付けることができます。おこのみスポットの編集方法は登録管理の『おこのみスポットを編集する』の項をご覧ください。

ルート案内機能の基本的な使い方

ルート案内を行うには、はじめにどのようなルートを通るのか条件を設定します。設定条件は、目的地や経由地のほか様々な条件を設定できます。ルートを探索したら、デモ走行機能を使ってどのようなルートを走行するのかを確認できます。決定したら、ルート走行を開始します。走行中はさまざまな表示を行いますので、参考にしながら走行してください。

1 ルートを設定する

地点検索機能を使い、出発地、目的地、経由地を設定します。探索モードと移動手段・ルート表示方法を選択し、ルートを探索します。

2 ルートを確認する

探索したルートを確認します。探索結果表示画面では、他の探索モードに切り替えてルートを探索し、比較することができます。デモ走行機能を使えば、走行中の音声案内や表示の切替なども確認することができます。

3 ルート案内を開始して走行する

ルート案内中は様々な画面表示や案内を行います。ボタンや表示の意味を理解し、正しくお使いください。

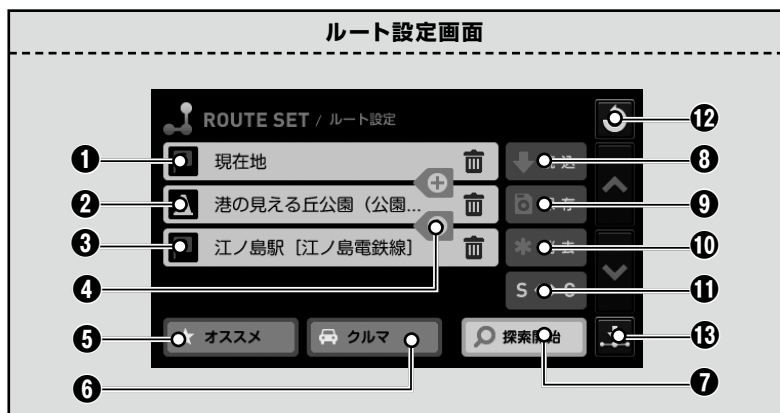
⚠ 警 告

運転したり、歩きながら本製品の操作や注視をしない。

事故の原因となります。特に運転者が運転中に操作することは大変危険です。運転中はドライバーモードで使用し、運転者は操作を行わないでください。

交通規則や実際の道路状況に従って走行する。

ナビゲーションと実際の交通状況が合っていないときに、無理にナビゲーションに従って走行すると事故の原因となります。状況に合わせて走行してください。

ルート設定画面

ルート設定

ルート探索のための条件を設定します。目的地、経由地、出発地といった地点や、探索モード、表示モードなどを選びます。設定した条件を登録したり、既に登録してある条件を呼び出して設定することも可能です。

---

❶出発地表示／設定ボタン

タッチして出発地を検索・設定します。ごみ箱ボタンをタッチすると、設定されている出発地を消去して現在地に設定します。

❷経由地表示／設定ボタン

経由地を設定すると表示されます。他の操作は出発地表示／ボタンと同じです。

❸目的地表示／設定ボタン

タッチして目的地を検索・設定します。他の操作は出発地表示／ボタンと同じです。

❹経由地追加ボタン

目的地を設定すると表示されます。目的地や経由地、出発地の間の任意の場所へ、経由地を加えることができます。目的地が未設定の状態では表示されません。

❺探索モード設定ボタン

距離や高速道路の通行の有無など、優先する道路条件を設定します。

❻移動手段・ルート表示方法指定

車やバイクといった移動手段や、ルート案内時の地図の表示方法を設定します。

❼探索ボタン

設定した内容でルート探索を開始します。

❽設定読込ボタン

登録ルートから設定条件を読み込みます。

❾ルート保存ボタン

設定内容を登録ルートとして保存します。

❿設定消去ボタン

現在設定されている内容をクリアします。

⓫出発地・目的地入替ボタン

現在設定されている条件から、出発地と目的地を入れ替えます。

⓬戻るボタン

ナビゲーションメニュー画面へ戻ります。

⓭現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

ルートを設定する

目的地を設定する

目的地表示／設定ボタンをタッチします。

地点検索メニュー画面が表示されます。名称検索、住所検索などの方法を使って目的地に設定する地点を決定します。検索方法は通常の地点検索と同じです。地点検索メニュー画面の現在地ボタンをタッチすると、ルート設定を中止して現在地画面を表示します。

地点画面が表示されるので、地点ポップアップメニューの目的地にするボタンをタッチします。目的地の位置の微調整が必要なときは、地図に直接触れてスクロールしてください。その場合はナビゲーションバーの地点ボタンをタッチし、ポップアップを表示させてから目的地にするボタンをタッチし、設定します。

設定が終わると自動的にルート設定画面に戻ります。目的地表示／設定ボタンには、選択した地点の名称が表示されます。

一度選択した地点を変更するときは、目的地表示／設定ボタンにタッチして再度地点検索を行い、もう一度設定を行います。設定した地点を消去したいときは、目的地表示／設定ボタン内の、地点名称の右のごみ箱ボタンをタッチします。

ルートを設定する

出発地を設定する

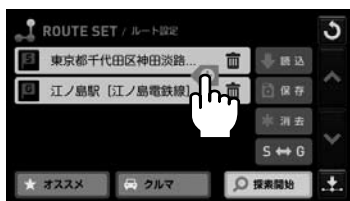
現在地以外の場所を出発地として設定するときは、出発地表示／設定ボタンをタッチして設定します。GPS電波を受信していないときの現在地は、最後にGPS電波を受信し測位を行った場所になっていますのでご注意ください。

地点検索メニュー画面が表示されます。名称検索、住所検索などの方法を使って出発地に設定する地点を決定します。検索方法は通常の地点検索と同じです。地点検索メニュー画面の現在地ボタンをタッチすると、ルート設定を中止して現在地画面を表示します。

地点画面が表示されるので、地点ポップアップメニューの出発地にするボタンをタッチします。出発地の位置の微調整が必要なときは、地図に直接触れてスクロールしてください。その場合はナビゲーションバーの地点ボタンをタッチし、ポップアップを表示させてから出発地にするボタンをタッチし、設定します。

自動的にルート設定画面に戻ります。出発地表示／設定ボタンには、選択した地点の名称が表示されます。

一度選択した地点を変更するときは、出発地表示／設定ボタンにタッチして再度地点検索を行い、もう一度設定を行います。設定した地点を消去し、現在地を出発地に設定したいときは、目的地表示／設定ボタン内の、地点名称の右のごみ箱ボタンをタッチします。

ルートを設定する

経由地を設定する

経由地を設定するときは、経由地追加ボタンをタッチします。経由地追加ボタンは、目的地を設定すると表示されます。目的地を設定していない状態では、経由地追加ボタンはありません。

地点検索メニュー画面が表示されます。名称検索、住所検索などの方法を使って経由地に設定する地点を決定します。検索方法は通常の地点検索と同じです。地点検索メニュー画面の現在地ボタンをタッチすると、ルート設定を中止して現在地画面を表示します。

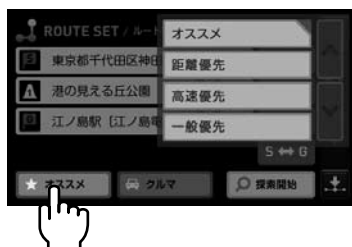
地点画面が表示されるので、地点ポップアップメニューの経由地にするボタンをタッチします。経由地の位置の微調整が必要なときは、地図に直接触れてスクロールしてください。その場合はナビゲーションバーの地点ボタンをタッチし、ポップアップを表示させてから経由地にするボタンをタッチし、設定します。

設定が終わると自動的にルート設定画面に戻ります。経由地表示／設定ボタンが表示され、設定した地点の名称が表示されます。経由地は最大８カ所まで設定できます。また、いったん設定した目的地や経由地、出発地は、各表示／設定ボタンをドラッグすることで順番を入れ替えることができます。

一度選択した地点を変更するときは、ボタンにタッチして再度地点検索を行い、もう一度設定を行います。経由地を削除したいしたい場合はごみ箱ボタンをタッチします。

ルートを設定する

探索モードを選択する

探索モードボタンをタッチし、探索モードを設定します。ボタンをタッチすると探索モードポップアップが表示されるので、その中から選択します。

探索モードは次の 4 種類です。

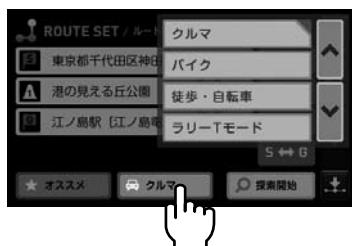
●オススメ
距離や時間に加え、分かりやすさなども考慮した最適ルートを探索します。

●距離優先
走行距離がなるべく短くなるルートを探索します。

●高速優先
できるだけ高速道路を通るルートを探索します。

●一般優先
できるだけ有料道路を通らず、一般道を使うルートを探索します。

移動手段・ルート表示方法を選択する

移動手段・ルート表示方法ボタンをタッチして設定します。ボタンをタッチすると探索モードポップアップが表示されるので、その中から選択します。

移動手段・ルート表示方法は次の 5 種類です。

●クルマ
一方通行や道路の幅員などを考慮した、車で走行することを前提としたルートを探索します。細街路は案内しません。

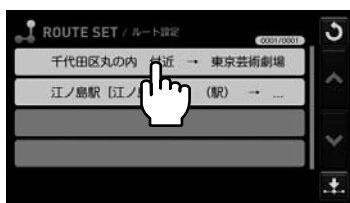
●バイク
クルマモードより狭い道路も対象にし、より距離を重視したルートを探索します。

●徒歩・自転車
細街路も含め、一方通行や道路の幅員に関係なくルートを探索します。徒歩・自転車モードでのルート案内中は、オートリルートは行いません。

●アローTモード
地図画面上では目的地方向線のみを表示し、ルート案内は行いません。経由地や目的地までの距離や電子コンパス、緯度経度情報などを位置情報表示ウィンドウで表示します。

●ラリーTモード
案内は位置情報表示ウィンドウの目的地方向表示のみとなり、地図は表示しません。チェックポイントの通過タイムなどの自動記録ができます。

登録ルートを読み込む

あらかじめ保存しておいた登録ルートを読み込み、地点検索などを行わなくてもルート設定を行うことができます。ルート設定を読み込むときは、設定読込ボタンをタッチします。

保存されているルートがリスト表示されるので、目的のルートを選択します。選択後は自動的にルート設定画面に戻り、選択した内容でルート探索条件が設定されています。

ルートを保存する

ルート保存ボタンでルート設定内容を保存しておくことができます。このとき、ルート設定で出発地を現在地にしている場合は、設定時の住所で保存されます。ルート設定が終わったら、ルート保存ボタンをタッチします。保存したルートは登録管理から編集することができます。

出発地と目的地を入れ替える

出発地・目的地入替ボタンをタッチすると、表示されている目的地と出発地を入れ替えることができます。

ルートを探索する

設定を終えたら、ルート探索ボタンをタッチするとルート探索を開始します。

ルートを比較する

ルート探索結果の表示

ルート設定時に選択した探索モードでの探索結果を表示します。探索条件表示／切替ボタンで選択することによって、他の条件でのルート探索も簡単に行うこともできます。ルート探索終了後、操作をしないまま５秒経過すると自動的にルート案内を始めます。

❶走行情報表示

目的地までの走行距離と目安となる走行時間を表示します。

❷走行ルート

探索されたルートをあらわします。一般道を走行する部分は緑色、有料道路は赤色で示されます。

❸探索条件表示／切替ボタン

ルート探索条件を切り替えてルートの比較ができます。ルート探索結果画面が表示された時点では、ルート設定画面で設定した探索条件（オレンジ色のボタン）でルート探索と表示を行っています。他の条件のボタンをタッチするとルート探索条件を変更し、探索と表示を行います。

❹案内開始ボタン

現在地図画面を表示しルート案内を始めます。

❺デモ走行ボタン

デモ走行を開始します。

❻戻るボタン

ルート設定画面に戻ります。

ルートを比較する

別の条件でルート探索・比較する

切り替えたい探索条件表示／切替ボタンをタッチします。

選択した条件でのルート探索が行われます。ルート探索中は、「ルート探索中」のポップアップにタッチすると探索を中止することができます。

選択した条件で探索したルートが表示されます。現在、表示されているルート探索条件表示／切替ボタンがオレンジ色で示されます。

ルート案内を始める

案内開始ボタンにタッチします。

現在地画面が表示され、ルート案内が始まります。

Chapter 04 ナビゲーション機能：ルート探索・案内

デモ走行画面

デモ走行によるルートの確認

実際の走行でどのような案内を行うのか、事前にシミュレーションを行うことができます。交差点やレーン案内などの画面表示や音声案内を聞くこともできます。シミュレーションボタン以外の機能はルート走行画面と同じです。

❶デモ走行ボタン

タッチするとデモ走行を始めます。デモ走行中にタッチすると、デモ走行を中止してルート探索結果画面に戻ります。

❷スピード調節ボタン

デモ走行の進行速度を調節します。加速・減速とも、最大値まで調節するとボタンが濃いグレーになり、押せなくなります。減速ボタン（↓）を最大限に押すと、画面を止めることができます。

ルートを比較する

デモ走行を行う

ルート探索結果画面でデモ走行ボタンを選択します。

デモ走行が始まります。必要に応じ、デモ走行スピード調節ボタンで加速・減速します。

デモ走行を中止する

デモ走行中にデモ走行ボタンにタッチすると中止することができます。ポップアップが表示されるので「 はい 」を選びます。

デモ走行を中止し、ルート探索結果画面に戻ります。

ルート案内を始める

ルート案内を始める

ルート探索画面の案内開始ボタンをタッチしてルート案内を開始します。現在地ではない場所を出発地にしてルート探索を行ったときは、オートリルート機能が働き現在地からスタートします。オートリルート機能をオフにしていたり、GPS電波の届かない場所ではオートリルートは機能しません。

途中、右左折や設定した経由地、オービスなど様々な表示や音声で案内をします。案内の表示や音声などは好みに合わせて設定することができます。

ルート走行中もナビゲーションバーのメニューが使用できます。経由地をスキップしてルートを再探索したり、別の道路を通るルートの探索ができます。また、おこのみスポットの登録など通常の地点メニューも使用できます。

オートリルート機能とは

ルート走行中にルートから外れた場合、自動的にルートを再探索して案内ルートを探索する機能です。オートリルート機能は、案内設定よりオフにすることもできます。また、案内ポップアップメニューの「 ルートを再探索 」は、任意の地点から手動でリルートを行うものです。

徒歩・自転車モードでのルート案内時のオートリルート

移動手段・ルート表示方法を「 徒歩・自転車 」モードにしてルート探索を行い、ルート案内をしているときは、ルートを外れたときもオートリルートは行いません。リルートを行いたいときは、案内メニュー内のルートを再探索ボタンをタッチしてリルートを行ってください。

ルート案内画面：通常表示

ルート案内画面（通常表示）

ルート案内画面（通常表示）

初期設定で表示される基本のルート案内画面です。画面右の案内情報ウィンドウに、次に現れる案内ポイント（右左折や経由地、目的地など）や走行情報が表示されます。案内情報ウィンドウは設定を変えることで表示しないようにもできます。

---

❶案内情報ウィンドウ

次案内ポイントの情報を常時表示します。表示内容は次の通りです。

●案内ポイント名称

交差点や有料道路入口、経由地など名称を表示します。

●案内方向

右左折を行う交差点などは、方向を矢印で表示します。

●案内ポイントまでの残距離

●目的地への予想到着時刻

●目的地までの距離

表示設定でレーン情報優先表示を選択しているときは、案内情報ウィンドウは表示しません。

❷レーン情報表示：レーン情報表示交差点

推奨レーン表示をしている交差点の名称と、交差点までの距離を表示します。

❸レーン情報表示：推奨レーン表示

矢印の数がレーン数を示しています。推奨レーンはオレンジ色の矢印で表示されます。レーンがない道路では空欄になります。

❹案内中止ボタン

タッチしてルート案内を中止し、現在地画面に戻ります。

ルート案内画面：通常表示

ルート案内中の表示

初期設定では、案内情報ウィンドウとレーン情報表示が常時表示されます。

交差点２画面表示を選択しているときは、交差点通過時に案内情報ウィンドウが閉じ、交差点拡大図が表示されます。ハイウェイマップ表示時も同様に、案内情報ウィンドウが閉じられ、ハイウェイマップが表示されます。

青看板表示（一般道案内標識表示）があらわれるときは、案内情報ウィンドウの上に重ねて表示されます。青看板表示は移動させたり、ごみ箱に捨てて画面表示しないようにもできます。

ルート案内画面：ポップアップメニュー表示

ルート案内画面（ナビゲーションバー：案内ポップアップ表示）

ルート案内中のナビゲーションバー内の機能

ルート案内中はナビゲーションバーの案内ポップアップボタンが選択できるようになります。案内ポップアップからはルート案内の中止やルートの確認などができます。

---

❶案内ポップアップメニュー

ルート案内に関するポップアップメニューを表示します。

❷案内ポップアップメニュー：案内を中止する

ルート案内を中止し現在地画面に戻ります。

❸案内ポップアップメニュー：経由地をスキップ

次に予定されている経由地をスキップし、ルートを探索し直します。

❹案内ポップアップメニュー：ルートを再探索

任意でリルートを行いたいときにタッチすると、ルートを探索し直します。

❺案内ポップアップメニュー：ルートを確認

ルート探索結果画面に表示されるものと同じルート全体図を表示します。

ルート案内画面：ポップアップメニュー表示

地点ポップアップメニュー

ルート案内中の地点ポップアップメニュー

ルート案内中も現在地画面と同様、地点ポップアップメニューが使用できます。中でも並行する道路がある場所を走行中に別道路に切り換えボタンをタッチすると、走行位置をもう一方の道路へ切り換えることができます。

周辺ポップアップメニュー

ルート案内中の周辺ポップアップメニュー

ルート案内中も現在地画面と同様、周辺ポップアップメニューを利用して現在地周辺の地点検索ができます。

ルート案内画面：レーン情報優先表示

ルート案内画面（ レーン情報優先表示 ）

ルート案内画面（レーン情報優先表示時）

案内設定の案内優先表示で、レーン情報優先を選択しているときの画面表示です。案内情報ウィンドウに表示されていた情報は次案内表示などに分散して表示されます。レーン案内は表示方法を切り替えることで最大５つ先の交差点まで表示できます。

❶レーン情報表示：
レーン情報表示交差点名称

推奨レーン表示をしている交差点の名称と、交差点までの距離を表示します。

❷レーン情報表示：
推奨レーン表示

矢印の数がレーン数を示しています。推奨レーンはオレンジ色の矢印で表示されます。

❸次案内ポイント名称

次の案内地点を表示します。

❹到着予想表示

目的地までの到着予想時間と残距離に加え、全行程中の現在位置をレベルゲージで表示します。到着予想時間部分をタッチすると、レベルゲージを折りたたむことができます。

❺次案内表示

右左折ポイントの方向とポイントまでの距離を表示します。

ルート案内画面：レーン情報優先表示

レーンガイド表示の切り替え

レーンガイドは通常、次の交差点名とレーン案内が表示されています。このときに次案内ポイントをタッチします。

タッチしていくとその先の交差点のレーン情報を表示します。手前の交差点ほど下に表示されます。2 つめの交差点から順に、最大 5 つ先の交差点までのレーン情報を表示することができます。

5 つ先の交差点のレーン情報を表示した状態でレーン情報表示交差点名称にタッチすると、レーン情報を隠すこともできます。

交差点名称を表示する

推奨レーンの代わりに、交差点名称を表示することができます。推奨レーンをタッチします。

交差点名と、交差点までの距離が表示されます。もう一度タッチすると推奨レーン表示に戻ります。

ルート案内画面：青看板表示

ルート案内画面（青看板表示時）

青看板（一般道案内標識）が設置されているポイントでは、実際の道路標識と同様に画面にも青看板を表示します。青看板表示は、ルート案内中に次に通過する交差点のものが表示されるほか、ルート走行をしていない場合も、直進時の次交差点のものを表示します。

---

❶青看板表示

次交差点で表示されている一般道案内標識（青看板標識）を画面内でも表示します。なお、通常のルート案内表示ではルート情報画面上に重ねて表示します。

ルート案内画面：青看板表示

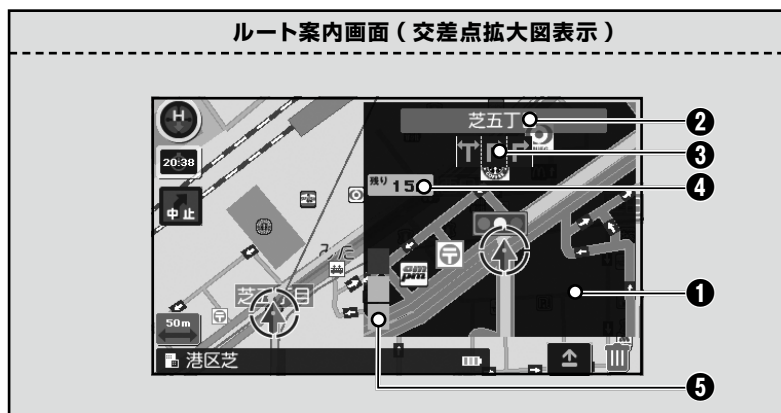
表示を移動する

青看板表示を移動したり、ごみ箱に捨てる（消去する）ことができます。移動するには表示をタッチし、画面を押さえたまま画面をなぞります。

画面から手を離した位置へ表示が移動します。画面の端のほうへ移動したときは、 自動的に画面の端に沿うよう位置を微調整します。

消去するには、ごみ箱まで表示を移動します。

表示が消去されました。

ルート案内画面：交差点拡大図表示

交差点拡大図表示

表示設定で交差点拡大図表示を行うよう設定しているときは、交差点手前で自動的に交差点拡大図が表示されます。この表示は、表示中に一時的に表示しないようにもできます。

---

❶交差点拡大図

❷交差名表示

この交差点の名称を表示します。

❸推奨レーン表示

矢印の数がレーン数を示しています。推奨レーンは　オレンジ色の矢印で表示されます。

❹右左折ポイント残距離

右左折ポイントまでの距離を表示します。

❺右左折タイミング表示

右左折するタイミングをレベルゲージで表示します。

ルート案内画面：交差点拡大図表示

交差点拡大図を一時的に閉じる

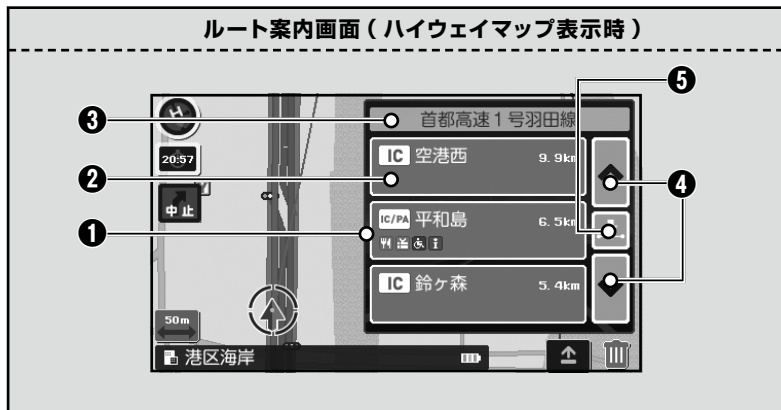
交差点拡大図を表示しているときに、交差点拡大図の地図画面にタッチします。

交差点拡大図を閉じて案内情報ウィンドウに切り替わります。交差点拡大図表示を解除している間は、案内情報ウィンドウのふちがオレンジ色に表示されます。

案内情報ウィンドウにタッチすると、案内ポイントになっている交差点に差し掛かったときに再び交差点拡大図が表示されるようにます。

レーン情報優先表示中の交差点拡大図表示

交差点拡大図を表示するよう設定しているときは、案内優先表示の設定（案内）にかかわらず交差点拡大図が表示されます。交差点拡大図の表示中にタッチすると、次案内表示に切り替わり、ふちがオレンジ色に表示されます。次案内表示をタッチすると次の案内ポイントとなっている交差点で再び交差点拡大図が表示されるようになります。

ルート案内画面：ハイウェイマップ表示

ハイウェイマップ表示

高速道路など有料道路を走行しているときは、画面の右半分にハイウェイマップを表示します。ハイウェイマップでは次に通過する道路上のポイントを表示します。

---

❶ハイウェイマップ表示

❷道路情報表示

次に通過する高速道路上のICやPA、料金所などのポイントの名称と距離を順に表示します。画面下側の方から近い順に表示されます。

❸道路名表示

走行中の道路の名称を表示します。

❹道路情報スクロール

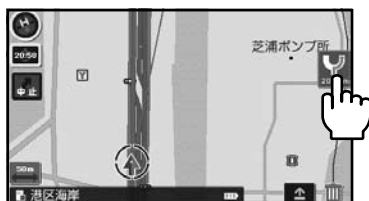
既に通過ポイントや、これから通過するポイントをスクロールして見ることができます。

❺道路情報現在地ボタン

目スクロールした道路情報を現在位置からの表示にリセットします。

ルート案内画面：ハイウェイマップ表示

ハイウェイマップを一時的に閉じる

ハイウェイマップの道路情報表示部分にタッチします。

ハイウェイマップを閉じて次案内表示に切り替わります。ハイウェイマップを解除している間は、次案内表示のふちが水色に表示されます。

次案内表示にタッチすると、再びハイウェイマップが表示されます。

現在地前後の道路情報を見る

道路情報スクロールボタンをタッチして、順に見ることができます。元の表示に戻したいときは、道路情報現在地ボタンをタッチします。

分岐案内

道路の分岐・合流地点では分岐地図が表示されます。

ルート案内画面：アローTモード

アローTモード
アローTモードではルート案内は行わず、地図画面上には現在地と目的地方向線のみが表示されます。道路がない場所でも地図と照らし合わせて目的地が確認できます。

---

❶位置情報表示ウィンドウ

電子コンパス情報やGPS情報を表示します。

❷電子コンパス

方位を表示します。

❸目的地方向表示

方位から求めた目的地の方向を矢印で表示します。

❹位置情報表示

GPSや電子コンパスから求めた現在地の位置情報を表示します。

Date：日付
Time：時間
Speed：速度
Elevation：高度
N：北緯
E：統計
North=0°：方向
Nextpoint：前後設定地点との間隔

ルート案内画面：ラリーTモード

ラリーTモード

ラリーTモードでは地図画面は表示されません。経由地や目的地の方向は、目的地方向表示でのみあらわされます。ルート設定で経由地・目的地に設定した地点を通過すると、自動的にチェックが行われ、通過タイムが記録されていきます。

---

❶ラリーTモード解除ボタン

ラリーTモードを終了して現在地画面に戻ります。

❷次目標地点確認ボタン

次の目標地点までの距離を表示します。左右のスクロールキーで他の目標地点との距離を切り替えて見ることができます。

❸チェックポイント通過記録

目標地点の通過タイムを表示します。

❹位置情報表示ウィンドウ

電子コンパス情報やGPS情報を表示します。

❺電子コンパス

方位を表示します。

❻目的地方向表示

方位から求めた目的地の方向を矢印で表示します。

❼位置情報表示

GPSや電子コンパスから求めた現在地の位置情報を表示します。

Date：日付
Time：時間
Speed：速度
Elevation：高度
N：北緯
E：統計
North=0°：方向
Nextpoint：前後設定地点との間隔

登録管理の設定のしかた

ナビゲーション使用中は、様々な表示や音声案内が行われますが、これらを変更することができます。

1 自宅登録のクリア

P97

登録した自宅の場所を消去します。

2 アイコン並び替え設定のクリア

P98

登録したボタンの表示・非表示設定をクリアし、初期状態に戻します。

3 オービス登録情報のクリア

P99

オービス情報の消去や、内容の編集を行います。

4 おこのみスポットの編集

P101

本体に登録したおこのみスポット（ 地点登録情報 ）を編集します。

5 登録ルートの編集

→ P108

登録ルート情報を消去・編集します。

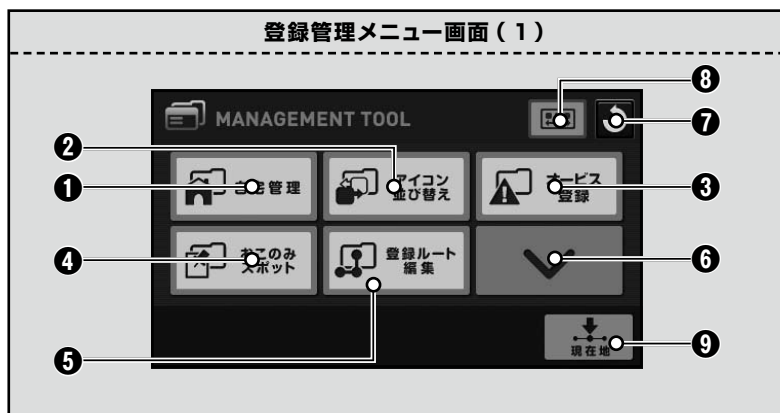
6 アイテムのクリア

P110

microSD カードに記録されているデータを消去します。

7 あしあと・エコドライブ

P111

GPS 電波の受信状況や、加速度センサー・電子コンパスの作動状態を表示します。

登録管理メニュー画面

登録管理メニュー（1）画面

登録された各種データの管理を行います。

---

❶自宅管理ボタン

自宅設定の初期化を行います。

❷ボタン並び替えボタン

ボタンの初期化を行います。

❸オービス管理ボタン

自分で登録したオービスの削除や初期化などの設定を行います。

❹おこのみスポットボタン

ナビゲーション画面から登録したおこのみスポットの編集や削除などの管理を行います。

❺登録ルート編集ボタン

登録したルートの編集や管理の設定を行います。

❻メニュー移動ボタン

登録管理メニュー（２）を表示します。

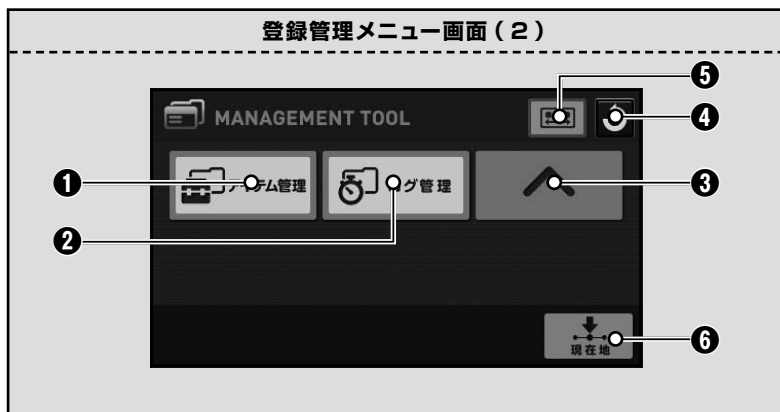
❼戻るボタン

ナビゲーションメニューに戻ります。

❽メニュー表示切替ボタン

メニューの表示モードを切り替えます。

❾現在地ボタン

ナビゲーション画面に戻り、現在地を表示します。

登録管理メニュー画面

登録管理メニュー(2)画面

登録された各種データの管理を行います。

---

❶アイテム管理ボタン

ナビゲーション画面で登録した自宅の設定の初期化を行います。

❷ログ管理ボタン

並び替えをしたボタンの初期化を行います。

❸メニュー移動ボタン

登録管理メニュー（1）を表示します。

❹戻るボタン

ナビゲーションメニューに戻ります。

❺メニュー表示切替ボタン

メニューの表示モードを切り替えます

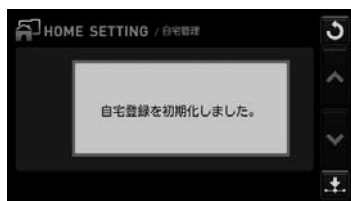
❻現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

自宅登録をクリアする

ナビゲーション画面で登録した自宅の初期化をするには、登録管理メニューから自宅管理をタッチします。

「 自宅管理の初期化 」をタッチすると登録自宅情報が初期化されて、登録されていない状態に戻りますので、ご注意ください。

「 はい 」をタッチすると、初期化を開始します。

「 自宅登録を初期化しました 」と表示されれば、自宅の初期化は完了です。

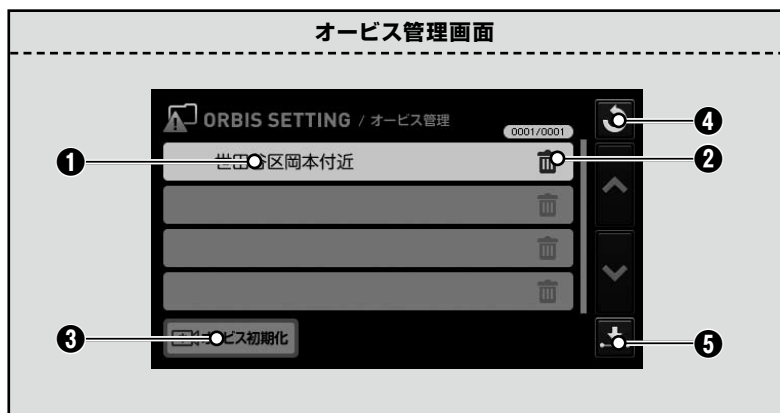
アイコン並び替えをクリアする

ナビゲーション画面に表示されている、移動･削除が可能な「 コンパス 」「 現在時刻 」「 情報バー」 などの位置を初期化するには、「 ボタン並び替え 」をタッチします。

「 ボタンの初期化 」をタッチすると工場出荷状態の位置にボタンが初期化されてます。お好みの位置へ移動するには、ナビゲーション画面上で移動したいボタンを移動することにより、お好きな場所へ移動することが可能です。

「 はい 」をタッチすると、初期化を開始します。

「 ボタンを初期化しました 」と表示されれば、初期化は完了です。

オービス登録地点をクリアする

オービス管理画面

ナビゲーション画面で登録したオービス情報の管理をします。

---

❶登録オービスデータ

自分で登録したオービスデータが表示されます。

❷オービス削除ボタン

登録したオービスの情報を削除します。

❸オービス初期化ボタン

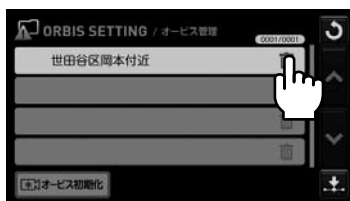
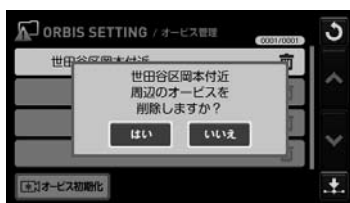
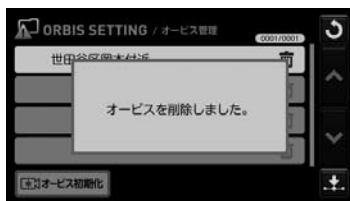
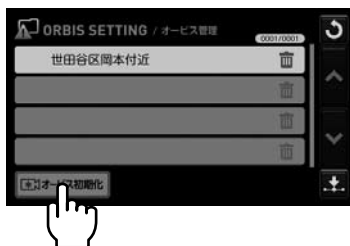
すべての登録オービスを初期化します。

❹戻るボタン

登録管理画面に戻ります。

❺現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

オービス登録地点を確認・クリアする

自分で登録したオービスデータを確認するには登録されているデータの住所表示部分ををタッチすると、ナビゲーションに表示されます。1件のみ削除する場合には削除ボタン（ゴミ箱）をタッチします。

「はい」をタッチすると、初期化を開始します。

「オービスを削除しました」と表示されれば、削除は完了です。

すべてのオービスデータを削除するには、「オービスの初期化」をタッチします。全てのオービスデータが削除されますので、ご注意ください。

おこのみスポットを編集する

おこのみフォルダ一覧設定画面

おこのみスポットの管理、編集、削除などの設定を行います。

---

❶おこのみスポットフォルダ

おこのみスポットはフォルダでの管理が可能です。

❷おこのみスポットアイコン表示

おこのみスポットのアイコン表示の有無を設定します。設定すると、このフォルダに入っているスポットの全てが、地図上でこのアイコンで表示されます。

❸お好みスポット件数表示

フォルダに保存されたスポットの件数が表示されます。

❹フォルダ名編集ボタン

おこのみスポットフォルダの名称を編集します。

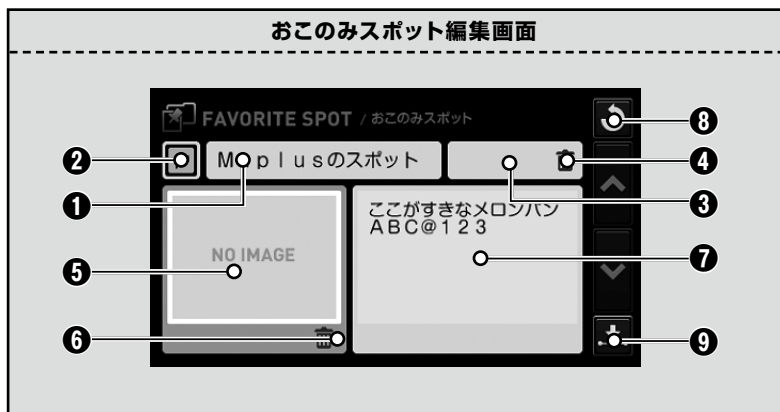
❺フォルダ削除ボタン

おこのみフォルダを削除するボタンです。

❻フォルダ作成ボタン

おこのみスポットを管理するフォルダを作成します。

❼フォルダ初期化ボタン

おこのみスポットフォルダの初期化をします。

❽戻るボタン

登録管理画面に戻ります。

❾現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

おこのみスポットを編集する

おこのみスポット画面

おこのみスポットの編集を行います。

---

❶おこのみスポット名称表示

登録したおこのみスポットの名称が表示されます。

❷おこのみスポットアイコン選択

このスポットを地図上であらわすとき使う、スポットのアイコンを変更することが可能です。

❸おこのみスポット音声ファイル表示

おこのみスポットに割り当てる、任意の音声ファイル名が表示されます。

❹おこのみスポット音声ファイル削除

おこのみスポットに割り当てた音声ファイルの削除をします。

❺おこのみスポット画像ファイル表示

おこのみスポットに割り当てる、画像ファイルが表示されます。

❻おこのみスポット画像ファイル削除

おこのみスポットに割り当てる、任意の画像を削除します。

❼おこのみスポット情報

登録したおこのみスポットに、コメントや情報の追加ができます。

❽戻るボタン

登録管理画面に戻ります。

❾現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

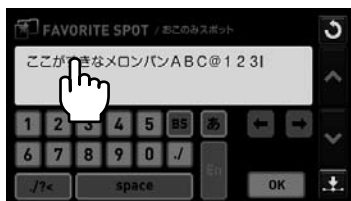
おこのみスポットを編集する

おこのみスポットの登録

登録したい場所で、ナビゲーションバーから地点をタッチし、地点ポップアップメニュ^からおこのみスポットに登録」選択します。

保存したいフォルダまたは、新規でフォルダを作成し、保存します。

おこのみスポットを編集する

おこのみスポットの名称を変更したり、コメントや情報を追加することができます。「おこのみスポット情報」エリアをタッチすると、入力画面に切り替わります。

店舗情報や営業時間、訪れた日時や、一緒に行った人など、お好きな情報を入力し、OKをタッチすると　、入力した情報が保存されます。

おこのみスポットを編集する

おこのみスポットの表示

おこのみスポットの編集をするには「おこのみスポットフォルダ」をタッチし、おこのみスポットの編集ボタンをタッチします。

選択したフォルダ内のおこのみスポットが表示されます。

選択したおこのみスポットが表示されます。

おこのみスポットの画像を登録する

おこのみスポットに、お好きな画像を登録することができます。「おこのみスポット画像表示」エリアをタッチして、登録したい画像を選択してください。事前にmicroSDカードの所定の位置に登録したい画像を保存しておく必要があります。

選択した画像が表示されます。

おこのみスポットを編集する

おこのみスポットの画像を削除する

おこのみスポット画像を削除するには「おこのみスポット画像表示」エリアにあるゴミ箱ボタンをタッチしてください。

おこのみスポットの音声を登録する

おこのみスポットに、お好きな音声や音楽を登録することができます。「おこのみスポット音声ファイル表示」エリアをタッチして、読み込ませたい音声を選択してください。事前にmicroSDの所定の位置に登録したい音声を保存しておく必要があります。

おこのみスポットの音声を削除する

おこのみスポット音声を削除するには「おこのみスポット音声表示」エリアにあるゴミ箱アイコンをタッチしてください。

おこのみスポットフォルダの作成

おこのみスポットはフォルダの中に分類して保存します。

「フォルダ作成」をタッチし、フォルダ名を入力してください。入力が完了したら「OK」をタッチしてフォルダの作成は完了です。

おこのみスポットを編集する

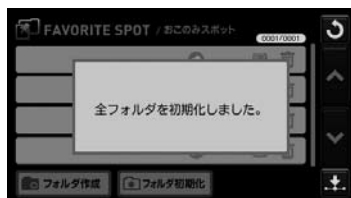
おこのみスポットフォルダの削除

フォルダを削除するには、削除したいフォルダのゴミ箱ボタンをタッチします。

「 はい 」をタッチするとフォルダが削除されます。フォルダ内のおこのみスポットも削除されますのでご注意ください。

フォルダを初期化する

おこのみスポットのフォルダを初期化するには「 フォルダ初期化 」をタッチしてください。

「 全フォルダを初期化しますか？」と表示されますので、「 はい 」をタッチするとすべてのフォルダが初期化されます。

全てのフォルダが初期化されると、全てのおこのみスポットが消去されますので、ご注意ください。

おこのみスポットを編集する

おこのみスポットに登録できるデータ形式

■音声・音楽データ
サンプリング周波数：44.1kHz ／ 32kHz ／ 22.05kHz
チャンネル：ステレオ／モノラル
量子化ビット：16 ビット
形式：WAV ファイル
容量：2.9MBまで

■写真データ
形式：BMP ファイル、JPG ファイル
容量：3MBまで

登録ルートを編集する

登録ルート編集画面

登録ルート編集画面

登録ルートの管理、名称編集、削除などを行います。

---

❶登録ルート

登録ルートが表示されます。登録されたときの状態では、ルート設定の内容がそのままファイル名として表示されます。

❷登録ルート名称編集ボタン

登録ルートの名称を編集します。

❸登録ルート削除ボタン

登録ルートの削除をします。

❹戻るボタン

登録管理画面に戻ります。

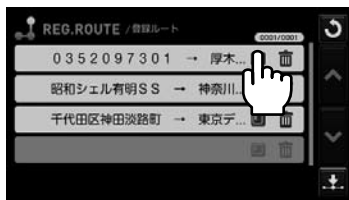
❺現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

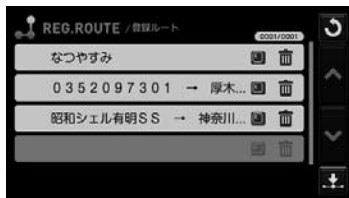
登録ルートを編集する

登録ルートを編集する

登録ルートを編集するには、編集したい登録ルートをタッチします。

登録されている内容でルート設定画面が表示されます。変更・追加を行った後、ルート保存ボタンをタッチすると、新しい設定で登録ルートが保存されます。ルート設定の方法は、chapter04 をご覧ください。

登録ルートの名称を編集する

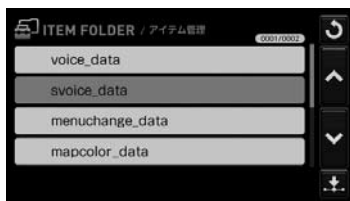
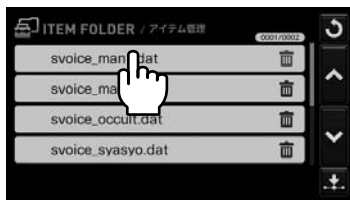
登録ルートの名称を変更することができます。編集するには編集したい登録ルートの登録ルート名称編集ボタンをタッチしてください。

入力画面に切り替わりますので、お好きなルート名を入力し、「OK」をタッチしてください。

登録ルートを削除する

登録ルートを編集するには、編集したい登録ルートをタッチします。

アイテム管理

アイテム管理

アイテム管理をするには、登録管理から「 アイテム管理 」ボタンをタッチします。

フォルダ名一覧が表示されます。ここで管理できるのはファイルの削除のみです。

削除したいファイルをフォルダから選択し、ゴミ箱ボタンをタッチすると削除を開始します。

「 はい 」をタッチすると削除します。

フォルダの構成と、保存されるデータにつきましては、下記をご参照ください。

■ mapcity_data：市街図データが保存されています
■ mapcolor_data：地図色パレットデータが保存されています
■ recommend：オススメスポットデータが保存されています
■ route_data：MAPLUS.web 作成ルートデータが保存されています
■ svoice_data：センサー連動音声データが保存されています
■ voice_data：案内音声データが保存されています

ログ管理

ログ管理画面

あしあとやエコドライブモードの管理や設定、記録などを行います。

---

❶あしあとボタン

あしあとログの再生、記録をします。

❷エコドライブモード

エコドライブモードの開始や設定、燃費計算などを行います。

❸戻るボタン

登録管理画面に戻ります。

❹現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

あしあと管理

あしあと管理画面

あしあと管理画面

あしあとの管理をします。

---

❶あしあとログファイル

いままでに保存したあしあとログのファイルです。ログ記録の開始日時と終了日時が表示されます。

❷あしあとログファイル削除ボタン

あしあとログのファイルを削除します。

❸あしあとログ記録開始ボタン

いままでに保存したあしあとログのファイルです。ログ記録の開始日時と終了日時が表示されます。

❹あしあとログ記録終了ボタン

ACアダプターやDCケーブルを接続し、電源が外部から供給されているときは赤色LEDが点灯します。

❺戻るボタン

ログ管理画面に戻ります。

❻現在地ボタン

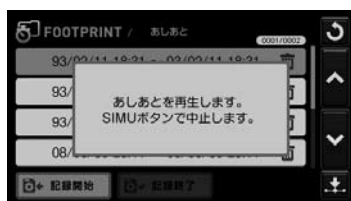
現在地画面へ戻ります。

あしあと管理

あしあとを記録する

「記録開始」をタッチするとあしあとログの記録を開始します。

あしあと記録を中止する

「記録終了」をタッチすると記録を終了します。記録されたログはあしあとに開始日時～終了日時をファイル名として保存されます。

あしあとを再生する

保存されたあしあとは再生することができます。再生したいログファイルをタッチし、再生を開始してください。

SIMUボタンで再生を開始します。

ログが地図画面上に再生されます。

あしあと管理

ナビゲーション画面上に表示されている「SIMU」ボタンをタッチすると再生を中止します。

あしあと記録を消去する

削除したいログファイルのゴミ箱ボタンをタッチしてください。「はい」とタッチするとログファイルが削除されます。

エコドライブモード

エコドライブモード管理画面

エコドライブモードの管理設定をします。

---

❶ eスタート成功率ゲージ

eスタート成功率がゲージで表示されます。

❷ eスタートポイント

eスタートがポイントで表示されます。

❸ 挙動安定率

挙動安定率がゲージで表示されます。

❹ 挙動安定率ポイント

挙動安定率がポイントで表示されます。

❺ 警告回数

急アクセル、急ブレーキ、急ハンドルの警告回数を表示します。

❻ エコドライブ開始ボタン

エコドライブを開始します。

❼ エコドライブ一時停止ボタン

エコドライブを一時停止します。

❽ リセットボタン

ポイントをリセットします。

❾ 燃費計算ボタン

給油量と総走行距離を入力し、燃費の計算をします。

❿ 警告レベル表示

警告レベルが表示されます。

⓫ 戻るボタン

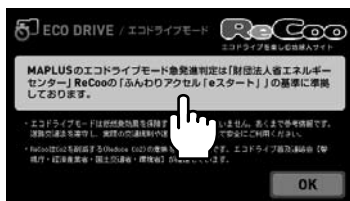
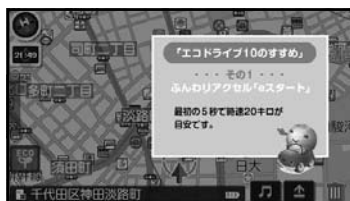
ログ管理画面に戻ります。

⓬ 現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

エコドライブモード

エコドライブモードを使う

エコドライブモードを開始するには、開始ボタンをタッチして開始します。

「財団法人省エネルギーセンター」ReCoo の「ふんわりアクセル「eスタート」」の説明が表示されます。「OK」をタッチすると、ナビゲーション画面に切り替わり、エコドライブモードが開始されます。

「エコライブ 10 のすすめ」が表示されます。

走行中の急発進や旧ハンドル、旧ブレーキには警告が出ます。

エコドライブモードの一時停止

「一時停止」をタッチ意するとエコドライブモードを一旦停止します。

エコドライブモード

燃費計算画面

エコドライブモードでの燃費計算を入力します。計算結果を記録していくこともできます･

---

❶前回の総走行距離

前回の総走行距離が表示されます。

❷現在の総走行距離

タッチして、現在の総走行距離を入力します。

❸給油量（満タンのみ）

タッチして、給油量を入力します。

❹燃費

燃料統計をすると計算された燃費が表示されます。

❺燃費統計ボタン

前回の総走行距離、給油量を入力し、燃料統計をタッチすると燃費が計算されます。

❻テンキー

数値入力用のテンキーです。

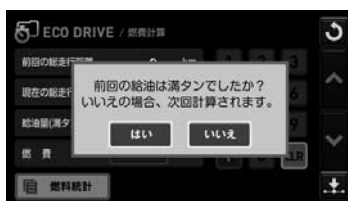
❼戻るボタン

ログ管理画面に戻ります。

❽現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

燃費を計算する

総走行距離と給油量の表示ウィンドウをタッチして数値を入力します。

前回が満タン（今回の給油量がそのまま消費量である場合）は、入力した数字で燃費を計算します。

今回給油分の燃費が計算され、自動的に記録されます。

これまでの燃費の履歴を見る

燃費計算画面から燃料統計を選びます。

履歴が一覧表示されます。リセットするときは統計初期化を押します。

ナビゲーションの設定のしかた

ナビゲーション使用中は、様々な表示や音声案内が行われますが、これらを変更することができます。

1 表示設定

P122

ナビゲーション中に表示されるアイコンや地図色を変更したり、文字の大きさなど画面表示に関する設定することができます。タテモードの設定もここで行います。

2 サウンド設定

P129

音量の設定や案内頻度など、案内音声に関する設定を行います。本機は、マスター音量の設定とは別に、各アプリケーション個別での音量設定が可能です。

3 案内設定

P130

ルート探索条件の詳細、ルート案内中の警告や機能、あしあと記録など案内に関する設定を行います。

4 GPS 情報

P132

GPS 電波の受信状況や状態をグラフィカルに表示します。

5 G センサー・コンパス情報

P133

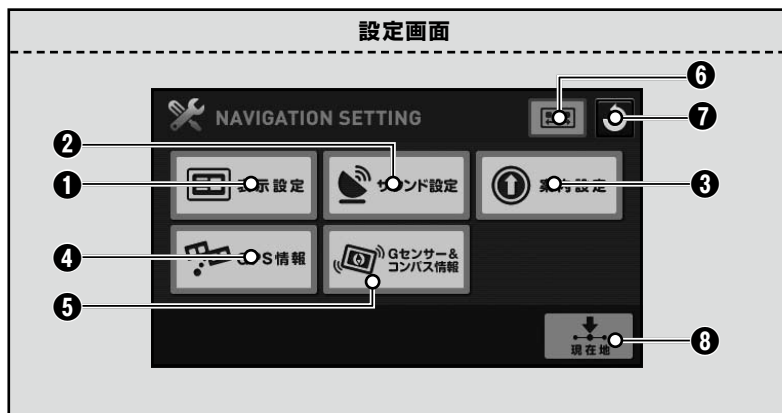
加速度センサー・電子コンパスの作動状態をグラフィカルに表示します。

⚠ 警告

運転したり、歩きながら本製品の操作や注視をしない。

事故の原因となります。特に運転者が運転中に操作することは大変危険です。運転中はドライバーモードで使用し、運転者は操作を行わないでください。

交通規則や実際の道路状況に従って走行する。

ナビゲーションと実際の交通状況が合っていないときに、無理にナビゲーションに従って走行すると事故の原因となります。状況に合わせて走行してください。

設定画面

設定画面

ナビゲーションをより、使いやすくするための多彩な設定を行います。

---

❶表示設定ボタン

地図の方向や、文字の大きさなど画面表示の設定を行います。

❷サウンド設定ボタン

音量の調節や選択、案内の頻度など音声の設定を行います。

❸案内設定ボタン

案内のタイミングやリルートなど案内の設定を行います。

❹ GPS 情報

GPS 情報の取得と、それをグラフィカルに表示します。

❺ G センサー&コンパス情報ボタン

G センサーのステータスや電子コンパスをグラフィカルに表示します。

❻メニュー表示切替ボタン

メニューの表示モードを切り替えます。

❼戻るボタン

ナビゲーションメニューに戻ります。

❽現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

表示設定画面

設定内容選択画面

詳細の設定内容については下記を参照ください。

➡がデフォルトの設定になっていますので、お好みの設定へ変更し、ご使用ください。

---

❶設定項目ボタン

それぞれの設定を行います。変更したい項目にタッチしてください。

❷設定表示

それぞれの設定がどのようになっているかを表示します。

❸詳細設定ボタン

さらに詳細な設定が可能な項目を表示します。

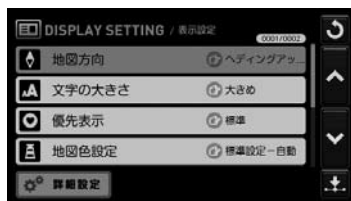
❹戻るボタン

ナビゲーションメニューに戻ります。

❺現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

設定を変更する

ナビゲーションメニューの「設定」では、さまざまな設定を行うことが可能です。また、「設定」には、GPS情報やGセンサー、電子コンパスをグラフィカルに表示することができます。

設定を変更したい項目をタッチし、お使いになられる環境やお好みに応じて、お好きな設定に変更し、あなた好みのナビゲーションに仕上げてください。

基本的な操作は、変更したい項目をタッチし、左右の設定変更ボタンで任意の設定に変更するだけの簡単操作となっています。いくつかの設定は、ダウンロードしたデータを読み込んで設定に反映されるものもあります。ファイルの読み込みなどにつきましては、各項目をご参照ください。

デフォルト設定について

本書では、➡がついている項目がデフォルト（工場出荷設定）の設定となっています。

表示設定：通常設定

案内優先表示 (⇒*1)

案内優先表示の設定を変更します。お好みに合わせて設定ください。

➡案内方向優先
　レーン情報優先

地図方向

地図方向の設定を変更します。お好みに合わせて設定ください。

➡ノースアップ
　ヘディングアップ

文字の大きさ

地図に表示される文字の大きさの設定をします。お好みに合わせて設定ください。

　小さめ
➡ふつう
　大きめ

優先表示

優先表示の設定をします。お好みに合わせて設定ください。

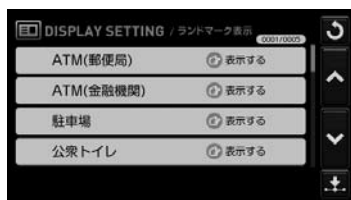
➡標準
　住所優先
　道路名優先
　施設名優先

地図色設定 [⇒*2]

ナビゲーションの地図色表示の設定をします。お好みに合わせて設定ください。

テーマ選択
➡標準設定

昼夜色設定
➡自動
　昼色固定
　夜色固定

表示設定：通常設定

ランドマーク表示

ランドマーク表示の変更は 2 階層になっています。最初の画面では、変更したいランドマークを選択し、次画面で地図画面での表示と非表示を設定します。

青看板表示

青看板表示の設定を変更します。お好みに合わせて設定ください。

➡表示する
　表示しない

縦モード切替

縦モード切替えの設定を変更します。自動の場合には、加速度センサーが本体の姿勢を自動的に判断し表示の変更を行います。お好みに合わせて設定ください。

➡自動
　横モード固定
　縦モード固定

交差点拡大図表示

交差点拡大図表示の設定を変更します。お好みに合わせて設定ください。

➡表示する
　表示しない

デモムービー表示

デモムービー表示の設定を変更します。お好みに合わせて設定ください。

➡表示する
　表示しない

表示するに設定した場合、自動的にデモムービーが再生されますのでご注意ください。

表示設定：詳細設定

現在地アイコン

ナビゲーション画面に表示される現在地アイコン表示の設定を変更します。お好みに合わせて設定ください。

自転車
徒歩
➡△
クルマ
バイク

コンパス表示

ナビゲーション画面に表示されるコンパス（地図方向アイコン）表示の設定を変更します。お好みに合わせて設定ください。

➡表示する
表示しない

現在時刻表示

現在時刻表示の設定を変更します。お好みに合わせて設定ください。

➡表示する
表示しない

ハイウェイマップ

ハイウェイマップ表示の設定を変更します。お好みに合わせて設定ください。

➡表示する
表示しない

軌跡表示

軌跡表示の有無を設定します。お好みに合わせて設定ください。

➡表示する
表示しない

表示設定：詳細設定

道路強調表示

道路強調表示の設定を変更します。見やすい強調レベルを選択してください。

県道以上強調
➡なし
高速以上強調
国道以上強調

目的地残距離表示

目的地までの残距離表示の設定を変更します。お好みに合わせて設定ください。

➡表示する
表示しない

交差点情報表示 [⇒*1]

ナビゲーション画面下部に表示される交差点情報表示バー表示設定を変更します。お好みに合わせて設定ください。

➡レーン情報表示
交差点名称表示

交差点情報数 [⇒*1]

ナビゲーション画面に表示される交差点情報の数の設定を変更します。最大で5つまで表示可能です。

しない
➡1つ
2つ
3つ
4つ
5つ

表示設定：詳細設定

道路名・住所表示

ナビゲーション画面下部に表示される交差点情報表示バーの表示の有無を設定します。お好みに合わせて設定ください。

道路名表示
➡住所表示
表示しない

到着予想表示 [⇒*1]

到着予想表示の設定を変更します。お好みに合わせて設定ください。

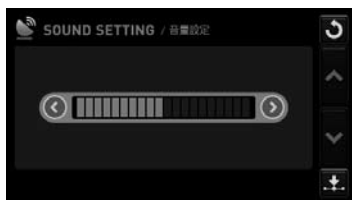
➡表示する
表示しない

[⇒*1]：案内優先表示

案内優先表示設定にて「 案内方向優先 」に設定した場合、表示設定⇒詳細設定にある
1. 交差点情報表示
2. 交差点情報数
3. 到着予想表示
上記詳細設定項目はナビゲーション画面での表示が固定になりますので、設定はできませんのでご注意ください。「 レーン情報 」を選択した場合は、すべて任意の設定が可能です。

[⇒*2]：地図色テーマ選択について

地図色のテーマを変更するには、MAPLUS.webから音声ファイルのダウンロードが必要です。また、地図色ファイルを本機に読み込ませるために、microSDカードが必要ですので、ご注意ください。データダウンロードの詳細につきましてはMAPLUS.web (http://maplus-navi.jp/) へアクセスし、ご確認ください。

サウンド設定

音量設定

ナビゲーションの音量設定を行います。お使いになられる環境に合わせて設定してください。

案内頻度

ナビゲーションの音声案内頻度を設定します。お好みの設定頻度でお使いください。

なし
少ない
➡普通
多い
非常に多い

音声選択 [⇒*3]

ナビゲーションの音声案内を設定します。お好みの音声でお使いください。

➡標準音声
古谷徹

音声を追加するにはMAPLUS.webからのダウンロードが必要です。

センサー連動 [⇒*3]

音声のセンサー連動を設定します。

➡なし

デフォルトではセンサー連動はしません。

[⇒*3]：音声を選択するには

本体にあらかじめ搭載されているもの以外の音声案内を選択するには、MAPLUS.webから音声ファイルのダウンロードが必要です。また、ダウンロードした音声ファイルを本体に読み込ませるために、microSDカードが必要ですので、ご注意ください。データダウンロードの詳細につきましてはMAPLUS.web（http://maplus-navi.jp/）へアクセスし、ご確認ください。

案内設定

オートリルート

オートリルートの設定を変更します。案内されたルートから外れた場合に、自動的にリルートします。お使いになられる環境に合わせて設定を行ってください

➡する
しない

オービス警告レベル

オービス箇所が近づいた際に警告する頻度を設定します。お使いになられる環境に応じて設定してください。

警告しない
低い
➡普通
高い

目的地方向線

目的地を設定した場合に、目的地までの方向線を表示します。お使いになられる環境に合わせて設定を行ってください

➡表示する
表示しない

フェリー利用

フェリー利用の設定を変更します。お使いになられる環境に合わせて設定を行ってください

➡利用する
利用しない

案内タイミング

音声案内のタイミングを設定します。お使いになられる環境やお好みに合わせて設定を行ってください。

➡普通
少し早め
もっと早め

案内設定

マップマッチング

マップマッチングの設定を行います。お使いになられる環境やお好みに合わせて設定を行ってください。

強い
➡普通
低い
しない

マップマッチングとは

マップマッチングとはGPSや加速度センサー・電子コンパス等から取得した位置情報を地図上の道路へ補正 (紐付け) する機能です。「 低い 」「 普通 」「 強い 」は設定した強弱から位置や方向等を参考に、適当な道路を探し案内経路に補正させます。「 しない 」は道路と関係なく、自車位置を地図上に表示します。

あしあと記録間隔

あしあとの記録間隔の設定を行います。お使いになられる環境やお好みに合わせて設定を行ってください。

➡ 1 秒
2 秒
3 秒

あしあと記録とは

「 あしあと 」とはGPSより取得した、移動の軌跡を記録する機能です。記録間隔はユーザが設定した一定間隔で行われ、座標や時間などが記録されます。本機では、この「 あしあと 」を再生する機能があり、記録した軌跡を再現する事が出来ます。またWEBサービスであるMAPLUS .web上では、地図上に描画することで軌跡を一覧することが出来ます。詳細につきましてはMAPLUS.web（http://maplus-navi.jp/) へアクセスし、ご確認ください。

GPS 情報画面

GPS 情報画面

GPS 情報取得ステータスをグラフィカルに表示します。

---

❶ GPS 情報表示エリア

信号を受信したGPSが表示されるエリアです。

ID : GPS 衛星 ID 番号
ELEV: 衛星の仰角
AZI: 衛星の方位角
SNR:S/N 比数値
USED:GPS 信号取得・未取得

❷ GPSステータスエリア

GPSから取得した自分のGPSの情報が表示されるエリアです。

DATE : 西暦年月日
TIME : 現在時刻
N : 北緯表示
E : 東緯表示
PDOP : 位置精度低下率
HDOP : 水平精度低下率
VDOP : 垂直制度低下率
QUALITY : 測位状態 (2D/3D)
ALT: 平均海面からの高度
SPEED : 移動速度
COURSE : 角度

❸ GPSレーダーディスプレイ

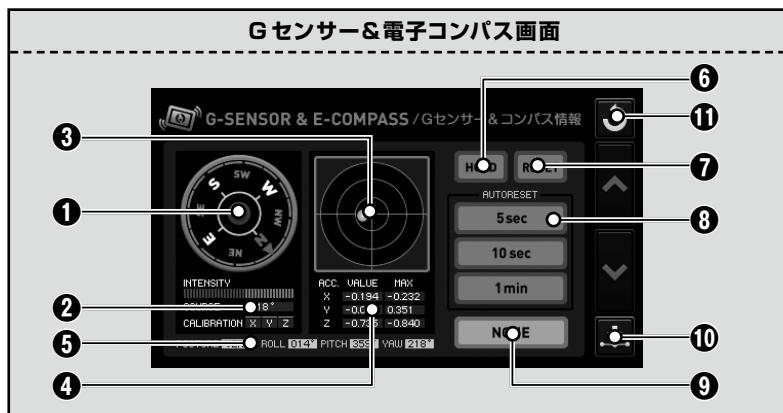
天空にあるGPS衛星の位置と、その衛星から送信されるGPS電波の強さを表示します。

❹ 現在地ボタン

ナビゲーション画面へ戻り、現在地を表示します。

❺ 戻るボタン

ナビゲーション設定メニューへ戻ります。

Gセンサー＆コンパス画面

Gセンサー＆コンパス画面

Gセンサーとコンパスをグラフィカルに表示します。自分が向いている方向や、動いている挙動がリアルタイムに表示されます。いろいろなシーンでお試しください。

---

❶電子コンパスステータス

自分の向いている方位をリアルタイムに表示します。

❷電子コンパス情報

自分の向いている方位をリアルタイムに表示します。

INTENSITY : 電界強度
COURSE : 方位
CALIBRATION : 状態情報

※キャリブレーションされている場合にはXYZの上部がオレンジ色になります。

❸加速度センサーステータス

現在の状態をリアルタイムに表示します。

❹加速度センサー情報

ACC : センサーの軸
VALUE : 重力(G)の値
MAX : 重力(G)の最大最小値

❺ポスチャーステータス

姿勢、ロール、ピッチ、ヨーの状態を数値でリアルタイムに表示します。

POSTURE : 姿勢（水平/垂直）
ROLL : ロール
PITCH : ピッチ
YAW : ヨー

❻ピークホールドボタン

加速度センサーのピーク状態を記録するボタンです。

❼ピークリセットボタン

記録したピーク状態をリセットします。

❽オートリセット設定

自動的にオートリセットする時間を設定します。

❾リセットなし設定ボタン

オートリセットをしない設定に切り替えるボタンです。

❿現在地ボタン

現在地画面へ戻ります。

⓫戻るボタン

ナビゲーション設定メニューへ戻ります。

GPS情報・Gセンサー＆コンパスについて

GPS情報

■GPS情報

GPS（Global Positioning System）とは、全地球測位システムまたは汎地球測位システムともいわれる、地球上の現在位置を調べるための衛星測位システムです。本機では、このGPSの情報を利用して自車位置の特定を行っています。GPS情報では、単純にGPSを取得できているかどうかだけでなく、どの方向のどの番号の衛星を利用しているのかや、各衛星の受信強度などがリアルタイムに分かるようになっています。また、現在の速度や高度なども確認が可能です。

Gセンサー＆電子コンパスについて

■Gセンサー

Gセンサーとは、本体に対してどの方向にどの程度の加速度（G）が掛かっているのかを測定するものです。本機では、3次元（X,Y,Z軸）方向に対する加速度を計測しており、主にトンネル通過時などGPSが取得しにくい場所でも安定したナビゲーションを行うために使用しています。また、エコドライブモードでは、このGセンサーで取得した数値を元に、急加減速の判定をする方式を取っています。

■電子コンパス

電子コンパスとは、地磁気を利用して方位を測定するものです。画面内コンパス上の「N」は常に地磁気の北を指し示しており、本体の向きを上下左右に回転させても自動的に方位を計測します。本機では、主にナビゲーション時の自車の向きに使用しており、特にGPSだけでは分かりにくい停車時などでの方位を測定できるため、ナビゲーション精度の向上が期待できます。

『本体の仕様：測位機能』の項もお読みください。

chapter 07　ワンセグテレビ機能

ワンセグテレビに関するご注意

地上デジタル放送について

地上デジタル放送とは、2003 年 12 月 1 日から、関東、近畿、中京の 3 大広域圏で、地上波のUHF帯を使用して開始されたデジタル放送です。このデジタル放送サービスのひとつで、携帯電話や移動端末向けに、20064 月 1 日から開始されたサービスが「ワンセグ放送」です。地上デジタル放送用の 6 メガヘルツの帯域を 13 セグメントに分けたうち、12 セグメントは地上デジタル放送用に、残り 1 セグメントをワンセグ放送用に使用しています。ワンセグ放送はこの 1 セグメントで、映像、音声、データを送信する放送方式です。

地上デジタル放送の電波について

受信場所や受信環境によっては、地上デジタル放送電波が弱く受信できない場合があります。

●受信しづらい場所
・放送局から遠い地域、または極端に近い地域
・山間部やビルの陰、地下、トンネル、室内など
・高圧電線、ネオンサイン、無線局、高速道路などの近く
・妨害電波が多かったり、電波が遮断される場所
・移動しながら受信しようとしている場合

●受信状態の改善
次のことを実行することで改善される場合があります。
・室内で視聴する場合は、窓際に移動することで改善することがあります。
・外部ワンセグアンテナ (別売) を利用することで、より良い状態で受信することができます。

本製品はARIB (社団法人 電波産業会) 規格に基づいた仕様になっています。将来の規格変更があった場合は、仕様を変更する場合があります。

ワンセグ放送サービスについての詳細は、社団法人デジタル放送推進協会ウェブサイトをご覧ください。

社団法人 デジタル放送推進協会ウェブサイト　http://www.dpa.or.jp/

ワンセグテレビに関するご注意

画面の表示比率について

地上デジタル放送の画面比率は 16：9 で固定されています。画面上で映像が 4：3 で表示されているものは、あらかじめ放送局で 4：3 比率の映像の左右に余黒（または放送局固有のフレーム）を付加して放送しています。

放送電波の受信状態と映像・音声出力

デジタル放送では、アナログ放送と違い映像や音声にノイズが混ざることはありません。放送電波が途切れた場合は、映像や音声も途切れて表現されたり、映像がモザイク状に表示されることがあります。全く受信できない状況では、映像・音声とも出力されません。

録画について

番組の録画はmicroSDカードへ行います。必ず推奨メーカーの製品を使用し、ＰＣなどでフォーマットを行ってから本体に装着してください。また、録画中は設定ボタンが表示されず、字幕などの設定ができません。あらかじめ設定を行ってください。

●推奨microSDカード

推奨メーカー：東芝、SanDisk

フォーマット形式：microSDカード／FAT形式、microSDHC／FAT32 形式

録画した番組の再生について

microSDカードへ録画した番組の再生は、録画を行った本体でのみ行うことができます。PCなどの他の機器や、同じ本製品であっても他の本体で録画した番組を再生することはできません。また、他の機器で録画した番組を、本製品で再生することもできません。

受信状態が悪いときの録画について

電波の受信状態が悪いときに番組を録画した場合、受信できなかった部分はカットされて録画されます。このため映像や音声が途切れて録画され、実際の放送時間よりも録画時間が短くなることがあります。

エラーメッセージが出てしまったら

ワンセグテレビのご使用中、ごくまれに「システムエラー：1セグデバイス の準備ができていません。」というメッセージが出ることがあります。この表示が出たら、電源スイッチを切って再起動を行ってください。

基本的な使い方

ワンセグテレビを見るには、メインメニューからワンセグボタンを選択し、ワンセグテレビを起動します。本体に収納されているワンセグアンテナを引き出して準備します。なお、ワンセグテレビ機能は、操作モードがドライバーモードになっているときは操作できません。詳しくは『 電源をいれ起動する 』もご覧ください。

1 ワンセグテレビを起動する

ワンセグテレビ機能を起動して放送電波を受信します。初めて使うときや長距離移動のときは、チャンネルスキャンを行ってください。

2 ワンセグテレビを見る

チャンネル切替や音量調節は操作画面から行います。EPG (電子番組表) の表示もできます。

3 ワンセグテレビを録画・再生する

microSDカードへ番組を録画することができます。microSDカードに録画した番組を再生するときも、ワンセグテレビ機能を使用して視聴します。

ワンセグテレビを起動する

本体の電源を入れ、ワンセグアンテナを引き出します。

⚠ 注意

ワンセグアンテナは確実に基礎部分まで引き出してください。無理に折り曲げたり引っ張ると破損するおそれがあります。

メインメニューからワンセグテレビボタンを選択し、ワンセグテレビを起動します。

ワンセグテレビ操作画面が表示されます。ワンセグ放送を受信しているときは、そのまま画面に番組が映し出されます。うまく受信できないときは、ワンセグアンテナや本体の向きを受信感度が良い方へ向けてください。また、前回使用した場所から移動している場合は放送エリアが変わっている可能性がありますので、チャンネルスキャンを行ってください。

ワンセグテレビ操作画面

ワンセグテレビ操作画面

ワンセグテレビの操作

チャンネル切替などの操作はこの画面から行います。テレビ画面をタッチするとフルスクリーン表示と操作画面が切り替えられます。また、10 秒間操作をしないと自動でフルスクリーン表示に切り替わります。

---

❶放送映像表示エリア

受信中のチャンネルの映像を表示します。

❷ホームボタン

ワンセグテレビを終了しメインメニューへ戻ります。

❸ナビゲーションボタン

ワンセグテレビを終了しナビゲーションを起動します。

❹戻るボタン

フルスクリーン表示へ切り替えます。

❺録画開始ボタン

microSDカードへの録画を開始します。録画中は録画停止ボタンになります。

❻録画済み番組リストボタン

この本体で過去に録画した番組がリスト表示されます。

❼設定ボタン

ワンセグテレビ全体の設定を行います。EPG（電子番組表）やチャンネルリストを見ることもできます。

❽チャンネル切替ボタン

前後のチャンネルに切り替えます。

❾シークボタン

チャンネルスキャンを開始します。

❿音量調節ボタン

本体側の設定音量に加え、音量調節ができます。

⓫ミュートボタン

音声出力を一時的に停止します。もう一度押すと音声出力を再開します。

⓬音量表示

現在の音量設定を表示します。

⓭チャンネル表示

受信しているチャンネル、放送局名、番組名を表示します。

⓮受信感度表示

受信している放送電波の強さを表示します。

ワンセグテレビの表示と操作

チャンネルスキャン

本製品で初めてワンセグテレビを使用するときや、長距離移動をして放送エリアが変わるときは、シークボタンを押しチャンネルスキャンを行ってください。チャネルスキャンを行うと放送エリア内のチャンネルが本体に記録され、チャンネル切替ボタンが使用できるようになり、EPG (電子番組表) を見ることもできるようになります。
なお、受信環境によっては、チャンネルスキャンを行っても受信できる放送電波がない場合もあります。

チャンネルの変更

シークボタンまたはチャンネル切替ボタンで変更します。

●チャンネルボタンで変更する
チャンネルスキャン時に本体に記録されたチャンネルへ順番に切り替えます。

●シークボタンで変更する
都度チャンネルスキャンを行い、受信できたチャンネルを表示します。

フルスクリーン表示

フルスクリーン表示では、番組が画面いっぱいに映し出されます。次の場合や操作を行ったときに、操作画面からフルスクリーン表示へ切り替えます。

●操作画面からフルスクリーン表示への切り替え
・操作画面で 5 秒以上何も操作を行わなかったとき、自動的に切り替えます。
・操作画面の、映像部分をタッチするとフルスクリーン表示へ切り替えます。
・戻るボタンをタッチするとフルスクリーン表示へ切り替えます。

●フルスクリーン表示から操作画面への切り替え
フルスクリーン時に画面をタッチすると、操作画面へ切り替えます。

音量調節

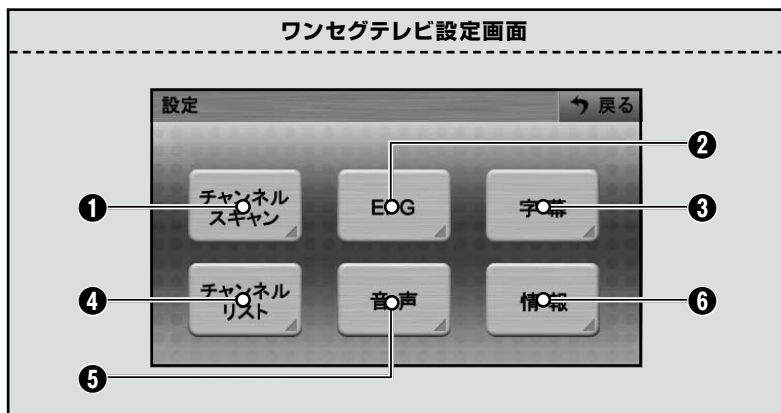
メインメニューでのマスター音量設定に加え、ワンセグテレビ独自の音量調節ができます。音量調節ボタンを押して調節してください。ワンセグテレビ上での音量は、操作画面上の音量表示にあらわされます。ワンセグテレビ上の音量をいっぱいまで調節しても音が大きかったり、小さい場合は、一旦ワンセグテレビを終了し、メインメニューの設定内の音量も調節してください。

音声のミュート

一時的に音声を消したいときは、ミュートボタンを押します。ボタンを押すと表示が変わり、ミュート中であることを表示します。ミュートの解除は、もう一度ミュートボタンを押すと解除されます。

ワンセグテレビの終了

ホームボタンを押すと、ワンセグテレビを終了してメインメニューを表示します。ナビゲーションボタンを押すと、ワンセグテレビを終了してナビゲーション機能を起動します。

ワンセグテレビ設定画面

ワンセグテレビ設定画面

操作画面の設定ボタンを押すと表示される設定画面です。チャンネルスキャンや字幕表示など、操作画面から行うときより詳細な設定を行うことができます。また、EPG（電子番組表）やチャンネルリストもこの画面から見ることができます。

❶チャンネルスキャン登録ボタン

チャンネルスキャンのモードを選択してスキャンを行えます。

❷ EPGボタン

現在受信しているチャンネルのEPG（電子番組表）を表示します。

❸字幕ボタン

字幕表示の有無を設定します。

❹チャンネルリストボタン

受信可能な放送局をリスト表示します。

❺主音声／副音声設定ボタン

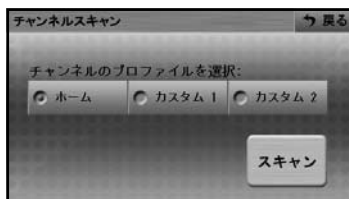
主音声と副音声の出力モードを設定します。

❻情報ボタン

ソフトウェアのバージョンを表示します。

❼戻るボタン

前画面に戻ります。このボタンは、項目ごとの設定画面で共通です。

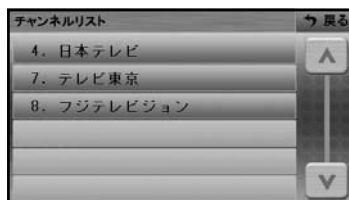
ワンセグテレビの詳細設定

チャンネルスキャン登録

異なるエリアのチャンネルリストをあらかじめ登録しておき、簡単に切り替えることができます。プロファイルを選択してスキャンボタンをタッチすると、チャンネルスキャンを開始します。スキャンが完了すると自動的にチャンネルリスト画面を表示します。3つまでプログラムリストを保存可能です。

EPG

受信中のチャンネルのEPG（電子番組表）を表示します。番組名にタッチすると、番組の出演者などの情報を表示します。戻るボタンをタッチして戻ります。

字幕

字幕表示の種別と表示の有無を設定できます。

チャンネルリスト

スキャンされたチャンネルをリスト表示します。放送局名をタッチすると、チャンネルを切り替えることができます。

主音声／副音声設定

主音声と副音声の出力を切り替えます。

ワンセグテレビを録画する

録画の前に

ワンセグテレビ番組はmicroSDカードに録画します。必ず推奨メーカーの製品を使用し、ＰＣなどでフォーマットを行ってから本体に装着してください。また、録画中は設定ボタンが表示されず、字幕などの設定ができません。あらかじめ設定を行ってください。

●microSDカード

推奨メーカー：東芝、SanDisk
フォーマット形式：microSDカード／FAT形式、microSDHC／FAT32形式

録画方法

録画したいチャンネルを表示し、操作画面の録画ボタンをタッチします。

録画が始まります。録画中は録画ボタンは録画停止ボタンに変わり、中央に録画時間が表示されます。録画中も音量調節ボタンやミュートボタン、戻るボタンは使用できます。画面をタッチしてフルスクリーン表示も可能です。録画中は字幕などの設定は変更できません。

録画停止ボタンを押して録画を終了します。

録画した番組を再生する

再生の前に

番組を録画したmicroSDカードを本体へ装着してください。microSDカードへ録画した番組の再生は、録画を行った本体でのみ行うことができます。PCなどの他の機器や、同じ本製品であっても他の本体で録画した番組を再生することはできません。また、他の機器で録画した番組を、本製品で再生することもできません。

再生方法

録画したmicroSDカードを本体に装着し、再生ボタンを押します。

録画済み番組リストが表示されるので、再生したい番組を選択すると、フルスクリーン表示で再生が始まります。

再生中は操作画面の録画ボタンが一時停止ボタンに、録画済み番組リストボタンが停止ボタンに変わります。

chapter 08　メディアプレーヤー機能

メディアプレーヤーを使う

お使いのmicroSDカードへ、お好みのデータを保存することにより、音楽・動画・静止画の再生がメディアプレーヤーで可能です。なお、メディアプレーヤー機能は、操作モードがドライバーモードになっているときは操作できません。詳しくは『電源をいれ起動する』もご覧ください。

対応フォーマット
　ミュージックプレーヤー：MP3、WMA
　ムービープレーヤー：MP4、WMV、H.264
　フォトビューワ：JPEG、BMP

microSDカード推奨メーカー：東芝、SanDisk
　フォーマット形式：microSDカード／FAT形式、microSDHC／FAT32形式

1 ミュージックプレーヤーを使う

microSDカード内に保存された、音声ファイルを再生することができます。お好みの音楽を楽しむほか、ナビゲーション中の楽曲再生も可能です。

2 ムービープレーヤーを使う

microSDカード内に保存された、著作権で保護されていない一般的なMP4、WMV、H.264を再生することができます。

3 フォトビューワを使う

スライドショー形式での再生やズーム機能を搭載したフォトビューワ機能では、microSDカード内に保存されたJPEG及びBMPファイルを表示することができます。

メディアプレーヤーのご注意

microSDカードについて

⚠ 警告

microSDカードは推奨メーカー製品を使う。

推奨メーカー以外のカードは動作保証対象外ですのでご注意ください。

データの読み込み中にmicroSDをカード絶対に取り出さない。

microSDカード内のデータ破損や、本体故障の原因となりますので、データの読み込み中にはmicroSDカードは絶対に取り出さないでください。また、読み込み中にmicroSDカードを取り出したり、本体の電源を切った場合や、静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合は、データが破壊されることがありますのでご注意ください。

大切なデータはバックアップを取る。

大切なデータは万が一の場合にそなえ、他の記憶媒体などに、定期的にバックアップされることをおすすめします。保存されたデータが消去してしまうことがあっても、弊社では一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

microSDカードは安全な場所に保管する。

取り出したmicroSDカードは、カードに付属したケースに入れるなどして保管し、お取り扱いには十分ご注意ください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。

●microSDカードに保存されたデータの判別を本体で行うため、再生画面が表示されるまでに時間がかかる場合がありますので、ご了承ください。

microSDカードの準備

メディアプレーヤーを使うには、microSDカードを所定の方法でフォーマットした上で、所定の名前の付けたフォルダに、あらかじめ再生したいファイルを入れておく必要があります。

●microSDカードのフォーマット

容量が2GB以下のmicroSDはFAT形式、SDHCはFAT32形式でフォーマットを行ってください。

●フォルダの作成

microSDカード内にPC等で次の名前のフォルダを作り、その中へ対応するファイルを保存してください。

フォルダ名「MUSIC」：音声ファイル（MP3、WMA）を保存します。

フォルダ名「MOVIE」：動画ファイル（MP4、WMV、H.264）を保存します。

フォルダ名「PHOTO」：画像ファイル（JPG、BMP）を保存します。

フォーマットしたmicroSDカードを本体へ装着し、本体の電源を入れると、フォルダが自動的に作成されます。

●詳しくは『使用上のご注意：microSDカードの使用』をご覧ください。

メディアプレーヤー　メニュー画面

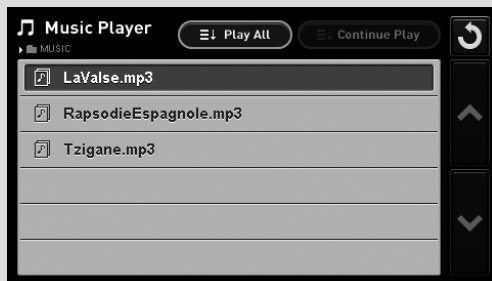
メディアプレーヤー　メニュー画面

メインメニューからメディアプレーヤーを選択し、メディアプレーヤーメニュー画面に切り替えます。

❶ミュージックプレーヤーボタン
ミュージックプレーヤーを起動します。

❷ムービープレーヤーボタン
ムービープレーヤーを起動します。

❸フォトビューワボタン
フォトビューワを起動します。

❹戻るボタン
メインメニューへ戻ります。

メディアプレーヤー　リスト画面

メインメニューからメディアプレーヤーを選択し、メディアプレーヤーメニュー画面に切り替えます。

ミュージックプレーヤー画面

ミュージックプレーヤー操作画面

ミュージックプレーヤー操作画面

MP3、WMAフォーマットの音声･音楽ファイル再生が可能なミュージックプレーヤーです。メインメニューのミュージックプレーヤーボタンを選択し起動した後、microSDカードに保存したファイルを再生します。

---

❶楽曲情報表示エリア

楽曲情報表示エリアには、ID3 タグからタイトル情報が表示できる場合に、タイトルやアーティスト名を表示します。また、タスクルール部分をタッチすることで、楽曲の操作も可能です。

❷巻き戻しボタン

楽曲の巻き戻しをします。

❸再生／一時停止ボタン

楽曲の再生、一時停止操作を行います。

❹早送りボタン

楽曲の早送りをします。

❺リピートモード切替ボタン

楽曲再生モードの切り替えを行います。全曲リピート、1曲のみリピート、リピートしないの 3 種類の切り替えが可能です。

❻音量調節 (大)

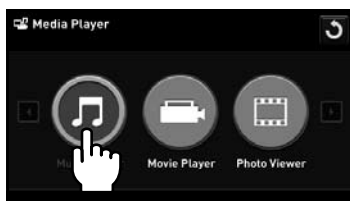
再生中の楽曲の音量を大きくします。

❼音量調節 (小)

再生中の楽曲の音量を小さくします。

❽戻るボタン

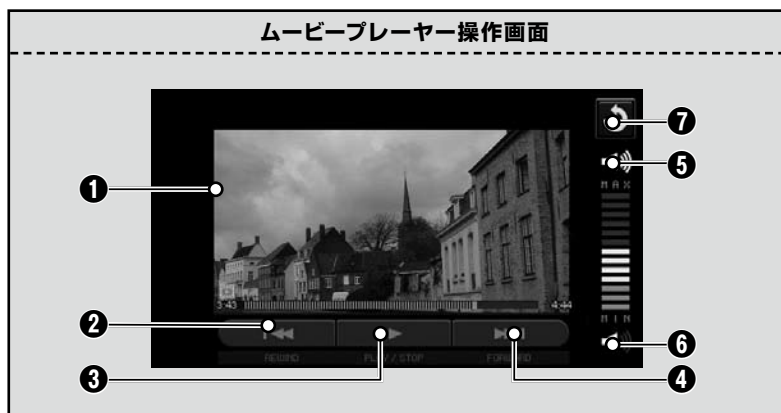
ミュージックプレーヤーを終了し、メディアプレーヤーメニュー画面へ戻ります。

音声・音楽を再生する

メインメニューからミュージックプレーヤーをタッチし、起動してください。あらかじめ、再生したい楽曲をmicroSDカードのMUSICフォルダへ保存しておく必要があります。

microSDカードに保存された楽曲データリストが表示されます。再生したい楽曲をタッチしてください。

再生モードに切り替わり、選択した楽曲の再生が開始されます。楽曲情報表示エリアには、ID3 タグからタイトル情報が表示できる場合に、タイトルやアーティスト名が表示されます。

ミュージックプレーヤーは、ナビゲーション中の楽曲の再生が可能です。ナビゲーション起動中に、画面上に表示されている音符ボタンをタッチすると、ミュージックプレーヤーが画面内で起動します。右下の音符ボタンをタッチすると、楽曲の再生はされたままで、プレーヤー画面は非表示になります。

ムービープレーヤー画面

ムービープレーヤー操作画面

デジタルカメラや携帯電話などで撮影した動画を再生できるなムービープレーヤーです。メインメニューのムービープレーヤーボタンを選択し起動した後、microSDカードに保存した動画ファイルを再生します。

---

❶動画再生エリア

動画が再生表示されるエリアです。再生ファイル名、再生時間などが表示されます。スクロールバーを操作することにより動画の操作も可能です。

❷巻き戻しボタン

再生中の動画を巻き戻します。

❸再生／一時停止ボタン

動画の再生、一時停止操作を行います。

❹早送りボタン

再生中の動画を早送りします。

❺音量調節ボタン（大）

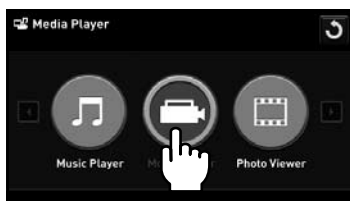
再生中の動画の音量を大きくします。

❻音量調節ボタン（小）

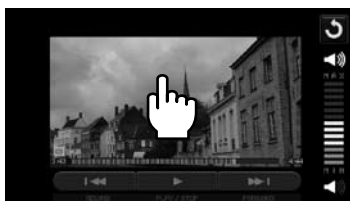
再生中の動画の音量を小さくします。

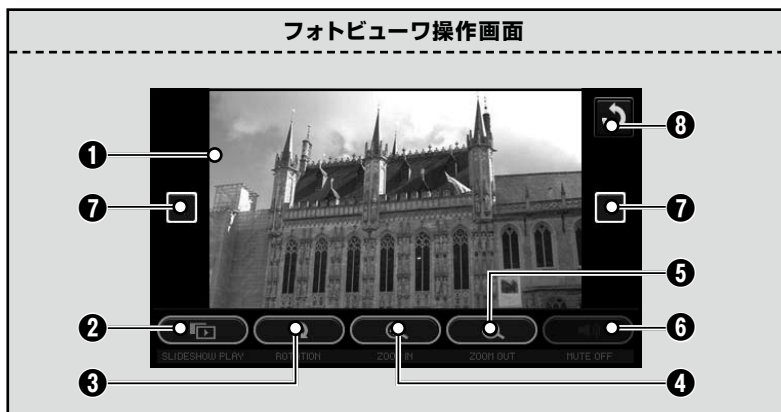
❼戻るボタン

ファイルリスト表示へ戻ります。

動画を再生する

メインメニューからムービープレーヤーをタッチし、ムービープレーヤーを起動してください。あらかじめ、再生したい動画をmicroSDカードの所定のフォルダへ保存しておく必要があります。

ムービープレーヤー　リスト画面が表示され、microSDカードに保存された動画データリストが表示されます。お好みの動画をタッチしてください。

再生モードに切り替わり、自動的に選択した動画の再生が開始されます。

画面をタッチすると、動画操作画面が表示されます。

フォトビューワ画面

フォトビューワ操作画面

デジタルカメラや携帯電話などで撮影した画像を見ることができるフォトビューワです。スライドショー・ズーム表示機能も備えています。メインメニューのフォトビューワボタンを選択し起動した後、microSDカードに保存した画像ファイルを再生します。

❶静止画表示エリア

選択した静止画が再生表示されるエリアです。

❷スライドショーボタン

スライドショーを開始または停止させます。

❸ローテーションボタン

画像を回転して表示させます。

❹ズームインボタン

表示中の画像を拡大表示します。

❺ズームアウトボタン

表示中の画像を縮小表示します。

❻ミュートボタン

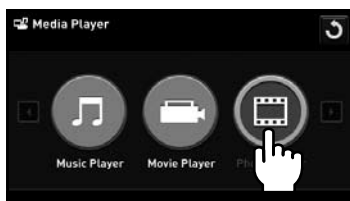
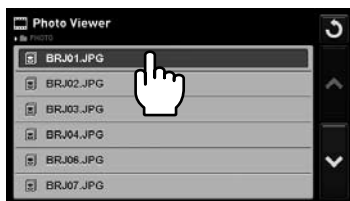
ミュージックプレーヤーで再生中の楽曲の音量をミュートします。

❼コントロールボタン

前後の画像へ移動し、表示します。

❽戻るボタン

リスト画面へ戻ります。

画像を再生する

メインメニューからフォトビューワーをタッチし、起動してください。あらかじめ、再生したい画像をmicroSDカードの所定のフォルダへ保存しておく必要があります。

microSDカードに保存された画像データリストが表示されます。再生したいファイル名をタッチしてください。

microSDカードに保存された画像一覧がサムネールで表示されます。見たい画像をタッチすると、再生が開始されます。

選択した画像が表示されます。そのまま何もタッチ操作をしないと、４秒で自動的に操作パネルは非表示になります。

画面にタッチすると、操作パネルが表示されます。

Chapter 08　メディアプレーヤー機能

chapter 09　本体の設定

本体の基本設定をする

ここでは本体の基本設定を行います。お使いになられる環境に応じて、お好みの設定を行ってください。主な設定項目は下記及び次項を参照ください。

Display: 画面関連の設定を行います。
Volume: 音量関連の設定を行います。
Battery: 内蔵バッテリーの状態を確認します。
Audio Output: オーディオ出力の設定を行います。
Others: タッチロックやセンサーの設定、システム情報の設定を行います。

1 画面を設定する

P161

画面の明るさ、バックライトオフ設定、タッチパネルのキャリブレーションなどの設定を行います。

2 音量を調節する

P162

本体のマスター音量の設定を行います。

3 内蔵バッテリーの状態を確認する

P162

本体のバッテリー残量やステータスを確認することができます。

4 スピーカー出力を設定する

P163

本体の内蔵スピーカーからの出力設定を行います。

5 その他の設定をする

P164

誤操作防止のためのオートタッチロック設定、加速度センサー・電子コンパスのキャリブレーション設定、システム情報確認を行います。

設定メニュー画面

設定メニュー画面

メインメニューの設定を選択し設定モードへ切り替えてください。

---

❶画面設定ボタン

本体のディスプレイに関する設定を行います。

❷音量設定ボタン

本体のマスター音量の設定を行います。

❸バッテリーステータスボタン

バッテリーの残量や充電状態の確認ができます。

❹次へボタン

設定の残りの項目を表示します。設定項目は全部で５項目あります。

❺戻るボタン

メインメニューへ戻ります。

設定メニュー画面

設定メニュー画面(2)

本体の各種設定を行います。

❶スピーカー出力設定ボタン

本体内蔵スピーカーの出力設定を行います。

❷その他の設定ボタン

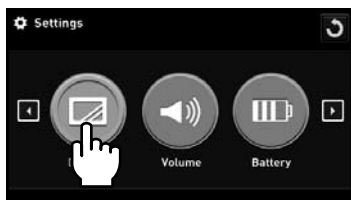
タッチロック設定、加速度センサー・電子コンパスのキャリブレーション、システム情報の確認を行います。

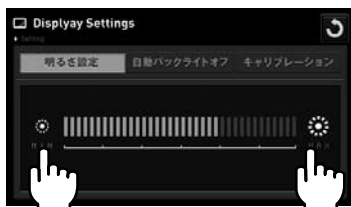
❸次へボタン

本体設定メニュー（ 1 ）へ戻ります。

❹戻るボタン

メインメニューへ戻ります。

画面設定

画面設定

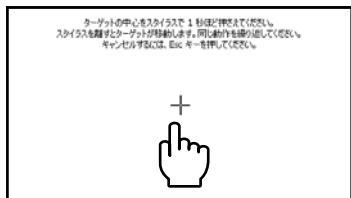
画面設定ボタンをタッチし、画面設定を開始します。

明るさ設定

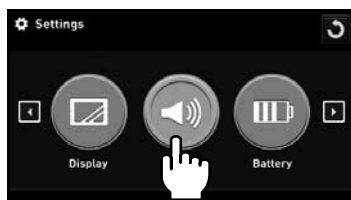
左右のボタンをタッチし、画面の明るさを設定します。ご使用になられる環境に合わせて設定を行ってください。明るさを最大にした場合は、バッテリーでの使用可能時間が短くなりますのでご注意ください。

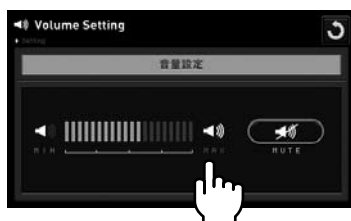
自動バックライトオフ

操作を行っていないときに画面のバックライトを自動でオフにする、オフタイマーを設定します。Neverに設定すると時間が経過してもバックライトはオフになりません。

画面のキャリブレーション

本体画面のキャリブレーションを行います。キャリブレーションはタッチパネルのタッチ位置の精度が低下したと感じたときに行ってください。STARTをタッチするとキャリブレーションが開始しますので、画面の指示に沿って設定を行ってください。

よりタッチパネルの精度を高めるためには、指先などよりもスタイラスなどの先端の尖ったもので設定を行うことをおすすめします。ただし、針や釘などの鋭利な先端形状の金属物での設定は画面を傷つける恐れがございますので絶対にしないでください。

音量設定

音量を設定する

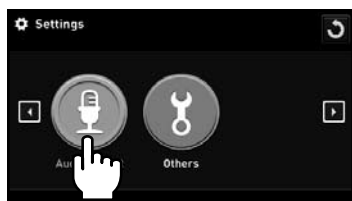
本体のマスター音量を設定します。マスター音量とは別に、ワンセグテレビやメディアプレーヤーでは個別に音量の設定が可能です。

お使いになられる環境に応じた音量に設定してください。また、ミュートをオンにした場合は、内蔵スピーカーおよびヘッドホン端子からは音声は出力されませんのでご注意ください。

バッテリーステータスの確認

バッテリーステータスの確認

本体内蔵バッテリー残量が確認できます。

充電中の場合は、ステータスバーの色が変化しながら、左から右へ移動します。

スピーカー出力設定

スピーカー出力設定

本体内蔵スピーカーから音声を出力させたくない場合は、スピーカー出力をオフに設定してください。

その場合でもヘッドホン出力からは音声は出力されますので、ヘッドホンでのみ音声を聴きたい場合には、オフにすることで内蔵スピーカーからの音声出力はされません。

その他の設定：タッチパネルオートロック

タッチパネルロック

誤操作防止のため、一定時間が経過するとタッチパネルの入力を禁止するタッチパネルオートロックを設定できます。設定するにはその他の設定をタッチし、タッチパネルオートロック設定を行います。

タッチパネルオートロックを選びます。

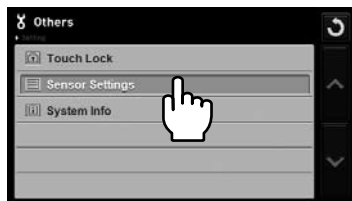
お使いになられる環境に応じて、任意の設定を行ってください。Neverに設定すると、オートロックは行いません。

その他の設定：センサーセッティング

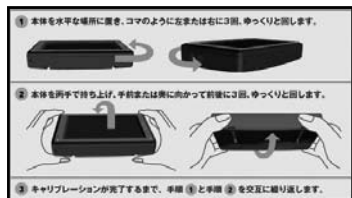
センサーセッティングの前に

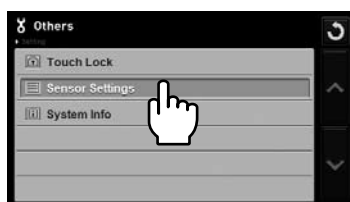
センサーセッティングを行うときは、いったん本体の電源を電源スイッチから切り、ふたたび起動した直後に行うとより効果的です。加速度センサーのキャリブレーションを行うときは、必ず水平な場所で、画面が上になるように置いて行ってください。電子コンパスのキャリブレーションを行うときは、直近にPCなどの機器や磁石、鉄製品がない場所で行ってください。キャリブレーション時にこれらのものの影響を受けると、正しいセッティングができなくなるおそれがあります。キャリブーションの方法は『その他の設定：センサーセッティング』をご覧ください。

その他の設定

その他の設定をタッチし、センサーの設定を行います。

電子コンパスのキャリブレーション

電子コンパスは出荷時にキャリブレーションが行われていますが、精度が低下したと感じたらキャリブレーションを行ってください。その他の設定から、センサーセッティングを選びます。

電子コンパスを選択し、STARTをタッチしてキャリブレーションを開始します。

画面の指示にしたがって、本体を回転させて設定を行ってください。

その他の設定：センサーセッティング

加速度センサーのキャリブレーション

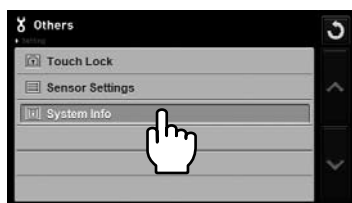
加速度センサーは出荷時にキャリブレーションが行われていますが、精度が低下したと感じたらキャリブレーションを行ってください。その他の設定から、センサーセッティングを選びます。

水平な場所へ、画面を上にした状態で設置し、本体が水平になっていることを確認してから、START を静かにタッチしてください。

「キャリブレーションが完了しました」メッセージが表示されれば設定は完了です。画面をタッチして前画面に戻ってください。

システム情報を見る

本体のシステム情報の確認を行うには、その他の設定画面よりシステム情報を選択します。

システム情報画面では、プリインストールされているOSやメディアプレーヤー、各アプリケーションのバージョン情報が確認できます。

システムの初期化を行う

本体の設定を初期化し、工場出荷時の状態に戻します。必要なデータはmicroSDへバックアップをしてください。初期化を行うには、システム情報を選択します。

システム情報初期化画面を選びます。STARTをタッチすると初期化を行います。

chapter 10　データベースについて／故障かな？

地図データベースについて

地図データについて

●いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

●データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。

●この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。

（測量法第 44 条に基づく成果使用承認 07-125P）

[2007 年 9 月発行データ使用]

交通規制データについて

●本製品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、(財)日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。TMT承認番号 08-87

●本製品に使用している交通規制データは、2007 年 4 月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。

●本製品に使用している交通規制データの著作権は、(財)日本交通管理技術協会が有し、二次的著作物作成の使用実施権をインクリメントP(株)が取得しています。本品に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工または改変することはできません。

●この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

オービスデータ・速度警戒エリアデータについて

オービス・速度警戒エリア情報について

本製品には、2007 年 12 月末時点で、OPTION ／ SSR 委員会が確認したオービス情報を収録しています。
本製品には、全てのオービスポイントが収録されているわけではありません。

本製品にて提供されるオービスポイントなどの情報の正確性、完全性、有用性、特定目的への合致等について、何等の保証をするものではありません。また、理由のいかんを問わず、本情報を利用または利用できなかったことに起因してお客さまに生じたいかなる損害に関し、一切責任を負わないものとします。

■お問い合わせ

本製品に関するお問合せにつきましては、同梱の製品ガイドを参照ください。

新規オービスの設置情報に関するお問合せは下記にお願いいたします。
株式会社三栄書房　OPTION ／ SSR 委員会
メールアドレス：n_yoshioka@san-eishobo.co.jp

商標・著作権・ライセンスなど

この製品は、主にGPSを利用したナビゲーション機器です。

Windows Media™ について

Windows Media™ は、米国MicrosoftCorporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MP3 について

MP3 とは「MPEG1 Audio Layer 3 」の略称であり、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。営業目的で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細につきましては、http://www.mp3licensing.com をご覧いただき、十分なご確認をされた上で、ご使用ください。

microSD ロゴは、商標です。

QR コードについて

「 QR コード」は (株) デンソーウェーブの登録商標です。

表示フォントについて

本製品に使用しているフォントは株式会社モリサワから使用諾を受けており、「 新丸ゴ R」はモリサワの商標です。

故障かな？と思ったら

◎本体の起動と終了／充電機能

症状	原因	処置	P
電源スイッチをオンにしても起動しない。	内蔵バッテリーが充電されていない。	充電してください。	17
スタンバイボタンを押しても起動しない。	内蔵バッテリーが充電されていない。	充電してください。	17
	電源スイッチがオフになっている。	電源スイッチ（主電源）をオンにしてください。通常は電源スイッチをオンにしたままスタンバイボタンでオンオフすることをおすすめします。	28
勝手に再起動する。	本体起動中にmicroSDカードを取り出した。	本体起動中にmicroSDカードを取り出すと再起動します。microSDカードは本体の電源を切ってから取り出してください。	23
勝手に起動する。	外部電源を接続した。	本体の主電源がオン、スタンバイボタンでオフ状態にしているときに外部電源と接続すると、自動的に起動します。	21
勝手に終了する。	外部電源との接続を切った。	外部電源との接続を切り、10 秒以上に操作を行わなかった場合は自動的に本体電源を切ります。	21
起動と終了を繰り返す。	ACアダプターやDCケーブルの接触が悪い。	外部電源供給のオン／オフが繰り返されている状態です。しっかり端子に差し込まれているか、端子やプラグに汚れや異物などがないかを確認してください。	21
バッテリーが充電されない。	ACアダプターやDCケーブルの接触が悪い。	充電ランプの状態を見て、しっかり接続されていることを確認してください。	27

◎本体の設定

症状	原因	処置	P
画面が暗い。	画面の明るさを調節していない。	画面設定から明るさを調節してください。	161
一定時間が経つと勝手に画面が暗くなる。	自動バックライトオフ設定をしている。	画面設定の自動バックライトオフ設定をNeverにしてください。バックライトオフ設定が解除されます。	161
タッチパネルの反応が悪い。タッチしたところと離れた場所を認識する。	タッチパネルの認識精度が低下している。	画面設定からキャリブレーションを行ってください。	161
タッチパネル操作ができない。	操作モードがドライバーモードになっている。	ドライバーモードでは10km/h以上で移動中しているとタッチパネルがロックされ操作できません。助手席モードでは移動速度による制限はありません。	28
	タッチパネルオートロックが設定されている。	その他の設定からタッチパネルオートロック設定をNeverにしてください。タッチパネルロックが解除されます。	164
音声・音楽が聞こえない。	音量が小さい。	本体やアプリの音量設定を確認してください。	162
ナビゲーションのときだけ音声の音量が小さい。	本体の設定音量が小さい。	ナビゲーション音声の音量は、本体の音量設定のみがそのまま反映されます。本体の音量設定を調節してください。	162
イヤホンでは音声・音楽を聴けるのに、スピーカーから出力されない	スピーカー出力設定がオフになっている。	本体のスピーカー出力設定をオンにしてください。	163

◎本体の機能：GPS測位

症状	原因	処置	P
GPS電波を受信できない。	購入後初めて使用する、または長期間使用しなかった。	見晴らしのよい場所で受信するまでお待ちください。15～20分程度かかることがあります。	18
	内蔵バッテリーが完全に放電された状態から使用している。	受信するまでに時間がかかることがあります。	18
	物陰など、GPS電波が入りにくい場所へ本体を設置している。	物陰にならない、電波が入りやすい場所へ移動させてください。	18
	車のフロントガラスなど、熱線吸収ガラスや熱線反射ガラス越しにGPS電波を受信しようとしている。	これらのガラスの影響の少ない位置に移動させるか、外部GPSアンテナ(別売)を接続し、アンテナ部を影響の少ない場所へ設置してください。	18 26
	高層ビル付近や高架道路の下など、GPS電波が届きにくい場所で使用している。	見晴らしのよい場所へ移動してください。	18
	携帯電話など、電波を送受信する機器が近くにある。	原因となる機器からなるべく離してお使いください。	18
	雨、雪、曇天などの悪天候	GPS電波が遮られ、受信しづらくなることがあります。	18
	上空のGPS衛星の配置が悪い。	GPS衛星が上空に少ない状況では受信しづらいことがありますが、時間の経過とともに衛星の配置が変わり、受信状態も改善します。	18

故障かな?と思ったら

◎本体：電子コンパス／加速度センサー

症状	原因	処置	P
電子コンパスの精度が低下している。	近くに磁石や鉄製品など、磁力を持つものがある。	他の磁石や鉄製品からなるべく離してください。	19
	キャリブレーションが正しく行われていない。	キャリブレーションはは本体の設定のセンサーセッティングから行います。周囲に他の磁石や鉄製品、PCなどがない場所で、正しく行ってください。	165
加速度センサーの精度が低下している。	キャリブレーションが正しく行われていない。	キャリブレーションはは本体の設定のセンサーセッティングから行います。水平な場所に、必ず画面を上にした状態でキャリブレーションを行ってください。	166

◎ナビゲーション機能：地図画面

症状	原因	処置	P
実際とは違う場所を現在として表示している。	GPS電波を受信していない。	GPS電波を受信していないときの現在地の表示は、最後にGPS電波を受信した場所になっています。GPS電波を受信すると正しい現在地を表示します。	18
現在地があちこちに飛んで表示されたり、地図が回転する。	GPS電波の受信が不安定になっている。	現在地を正確に測位するのが難しい状況です。見晴らしのよい場所へ移動しGPS電波を受信してください。	18
本体の向きを変えても、画面がタテヨコに切り替わらない。	表示設定が横モード固定または縦モード固定で設定されている。	表示設定メニューより、縦モード切替を自動に設定してください。	125
	横モードにのみ対応している画面を表示している。	画面によっては縦モード表示に対応していないものがあります。	-
現在時刻などのボタンや表示が画面から消えている。	非表示になっている。	地図画面のごみ箱をタッチすると、非表示になっているものが表示されます。画面に戻したいものはタッチして選択すると元の位置へ戻ります。	37 126
特定の業種の企業アイコンが画面に表示されていない。	ランドマーク表示が非表示になっている。	表示設定メニューより、ランドマーク表示の設定を行ってください。	125
実際にはない施設や店舗などが地図上に表示されている。	データの収録時期から実際の状況が変わっている。	データの収録時期より後に生じた変更が反映されていないことがあります。	170
地図色が勝手に変わる。	表示設定の地図色設定が自動に設定されている。	自動に設定されているときは18時以降は夜モードに切り替わります。変更したくない場合は昼固定または夜固定を選択します。	124

◎ナビゲーション機能：ルート設定

症状	原因	処置	P
ルート探索画面に経由地追加ボタンがなく、経由地を設定できない。	目的地が設定されていない。	目的地を設定すると、経由地追加ボタンが画面に表示されます。	67
ルート探索モードの一部または全部が選択できない。	移動手段・ルート表示方法で、徒歩・自転車モードまたはラリーTモード・アローTモードを選択している。	徒歩・自転車モードでは、ルート探索モードはオススメまたは距離優先から選択します。ラリーTモード・アローTモードはルート探索を行わないため、ルート探索モードはありません。	71
自宅へのルート探索ができない。	自宅登録が行われていない。	自宅登録を行わないと、自宅へのルート案内はできません。自宅が現在地になっているときか、地点検索を行って、地点ポップアップメニューから自宅位置を表示し、自宅登録を行ってください。	62 42

故障かな？と思ったら

◎ナビゲーション機能：ルート案内

症状	原因	処置	P
ルート案内画面に案内情報ウィンドウが表示されない。	表示設定の案内優先表示が、ルート情報優先に設定されている。	案内方向優先に設定してください。	82 124
青看板（一般道案内標識）が表示されない。	表示設定で青看板表示を行わないよう設定されている。	表示をするよう設定してください。	84 125
交差点拡大図が表示されない。	表示設定で交差点拡大図表示を行わないよう設定されている。	表示をするよう設定してください。	125
	次案内表示に縮小されて表示されている。	次案内表示をタッチすると、案内ポイントに差し掛かったときに交差点拡大図が表示されます。	87
ハイウェイマップが表示されない。	表示設定でハイウェイマップ表示を行わないよう設定されている。	表示をするよう設定してください。	126
	次案内表示に縮小されて表示されている。	次案内表示をタッチすると、ハイウェイマップを表示します。	89
有料道路や高速道路にいるのに、画面上では並行する一般道にいる。	測位誤差などにより起こる現象。	地点ポップアップポップアップメニューより、別道路に切り換えを選択すると、変更することができます。	80

故障かな?と思ったら

◎ワンセグテレビ機能

症状	原因	処置	P
操作できない。	操作モードが『ドライバー』で設定されている。	操作モードを助手席モードに切り替えると操作できます。	28
ワンセグテレビを受信できない。	チャンネルスキャンを行っていない。	チャンネルスキャンを行って、受信できる放送局を探索してください。	141
	ワンセグアンテナを収納したままになっている。	ワンセグアンテナを引き出してご使用ください。	139
	放送エリア外で受信しようとしている。	一部エリアでは未放送の地域があります。	141
ワンセグテレビを録画できない。	microSDカードが装着されていない。	microSDカードを装着してください。	-
録画した番組が途切れている、一部しか録画できていない。	受信状態が悪いときに録画した。	電波が途切れているときに録画すると、受信できなかった部分をスキップして録画します。このため、実際の放送時間より録画時間が短くなることがあります。	144
録画した番組を再生できない。	番組を録画したmicroSDカードが装着されていない。	本体のチャンネルリストで表示されるのは録画履歴です。履歴に対応する番組データがmicroSDカードにないと再生ができません。番組を録画したmicroSDカードを装着してください。	-
	他の機器で録画した番組を再生しようとしている。	他の機器や、同じ製品であっても他の本体で録画した番組を再生することはできません。	145

◎メディアプレーヤー機能

症状	原因	処置	P
操作できない。	操作モードが『ドライバー』で設定されている。	操作モードを助手席モードに切り替えると操作できます。	28
音声・音楽、動画、画像を再生できない。	microSDカードが装着されていない。	再生したいデータを収録したmicroSDカードを本体へ装着してください。	-
	microSDカード内のディレクトリに正しく収録されていない。	対応した名前のフォルダに正しく収録しないと、本体で再生ができません。PCなどを使ってただしいフォルダに入れ直してください。	24
	対応していないファイル形式のファイルを再生しようとしている。	対応ファイル形式と、再生しようとしているファイル形式を確認してください。	24

本体の仕様

本体仕様	
外形寸法	W128 × H83 × D25mm
質量	260g
ディスプレイ	4.3 インチ TFT 液晶（WQVGA）タッチパネル
SDRAM	128MB
フラッシュメモリー	2GB
インターフェイス	microSD カードスロット（8GB SDHC サポート） 外部出力端子（φ 3.5mm）、オプション端子 外部アンテナ端子（GPS、ワンセグ）
コントロール	タッチパネル、タテモード
動作温度	0℃～ 60℃
保存温度	-20℃～ 80℃
対応電源電圧	DC12-24V（DC ケーブル使用時） 家庭用 AC100V（AC アダプター使用時）
バッテリー容量	1500mAh
充電時間	約 3 時間
バッテリー駆動可能時間	約 3 時間